

調査研究の概要

1 調査研究名

集団における望ましい人間関係づくりに関する調査研究

2 調査名

(1) 学校生活についてのアンケート（平成 18 年 10 月実施）

(2) 子どもたちのコミュニケーションに関するアンケート調査（平成 19 年 6 月実施）

3 内 容

当センターでは、平成 18 年度および 19 年度、「集団における望ましい人間関係づくりに関する調査研究」に取り組んでいます。

この研究の一環として、児童生徒の集団における望ましい人間関係を構築するための有効な手だてを探る目的で、平成 18 年 10 月に「学校生活についてのアンケート」、平成 19 年 6 月に「子どもたちのコミュニケーションに関するアンケート」を実施しました。

今回のアンケートの調査のまとめは、平成 19 年度末に報告します。また、アンケートの協力校に対する聴き取り調査の結果も踏まえて、集団における望ましい人間関係づくりに関する指導を充実させるための校内研修用の参考資料を作成する予定です。

4 調査対象

(1) 学校生活についてのアンケート（平成 18 年 10 月実施）

児童生徒：小学校第 4 学年、第 6 学年、中学校第 1 学年、第 3 学年 2,075 名

学校生活についてのアンケート調査結果の概要はこちら（PDF）
～集団における望ましい人間関係づくりに関する調査研究（中間報告）～
[平成 18 年 10 月実施]

(2) 子どもたちのコミュニケーションに関するアンケート調査（平成 19 年 6 月実施）

児童生徒：小学校第 2 学年、第 4 学年、第 6 学年、中学校第 1 学年、第 3 学年、
高等学校第 1 学年 2,391 名

保 護 者：回答した児童生徒の保護者 2,250 名

教 員：児童生徒の在籍する学校の教員 628 名

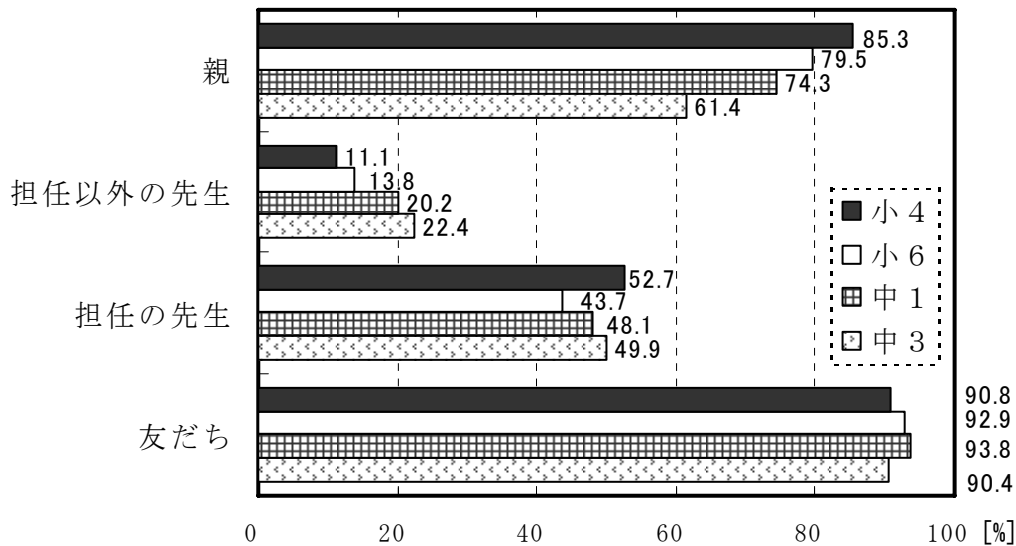
「子どもたちのコミュニケーションに関するアンケート調査」集計結果の特徴

(1) 「子どもの学校生活に関するアンケート（平成18年6月実施）」からわかったこと

小学校段階から、子どもたちの人間関係が広がり、徐々に親からの自立意識の高まりが見られ、友だちとのコミュニケーション重視ようになる。特に、小学校中学年から高学年の時期の意識の変化が顕著である。

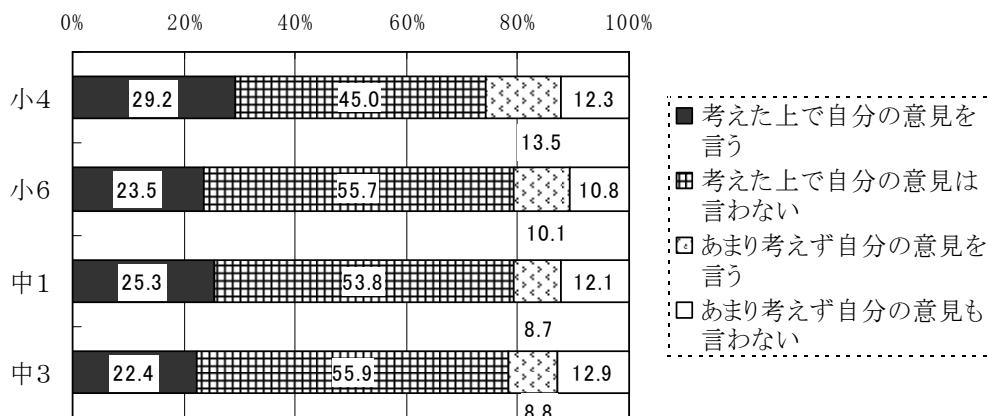
小学校に入ると、家族との会話を中心であった幼児期と違って、友だちや担任の先生との会話が増え、さらに、中学校では、担任以外の先生と関わる機会が増えます。また、思春期になると、親から自立しようとする気持ちも強くなります。このような人間関係の広がりや自立意識の高まりなどが、「学校のことで困ったときに励ましてもらうとうれしい相手」の回答に表れていると考えられます。

「あなたは、学校のことで困ったとき、だれにはげましてもらうとうれしいですか」(友だち、担任、担任以外の先生、親)



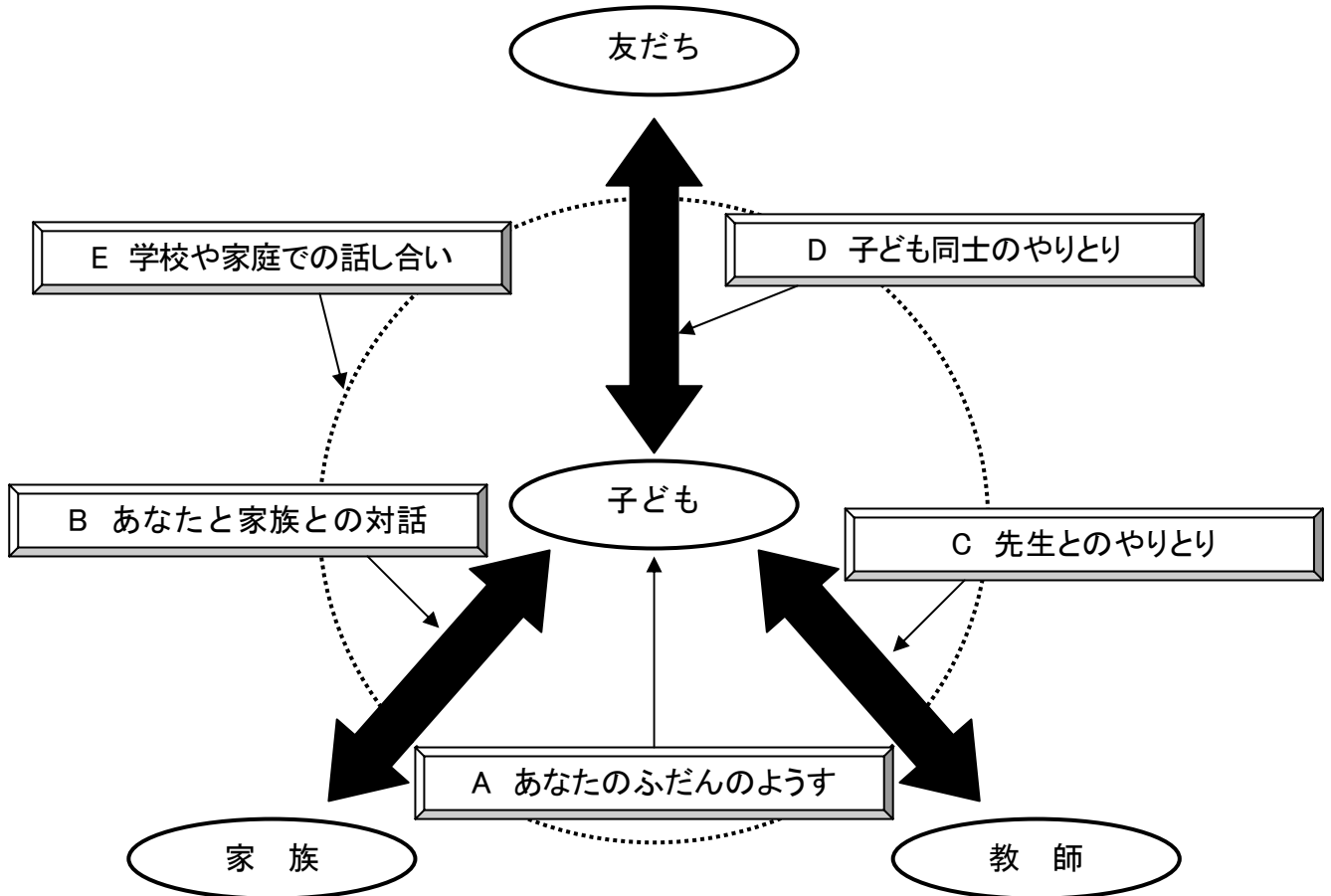
小・中を通じて、対話や話し合いを通して課題を解決しようとする意識は十分育っていない。

「話し合いで、自分とちがう意見を友だちから先に言われたとき、どのようにすることが多いですか」



(2) 「子どもたちのコミュニケーションに関するアンケート調査（平成19年6月）」
で構想したこと

調査対象に、小2児童、高1生徒を新たに加え、教科学習以外の活動や学級以外の活動についても、調査項目を設定しました。学校生活の中での様々な諸活動を見直して、子どもたちを取り巻く、家族、教師、子ども同士のそれぞれの間でコミュニケーションに対する意識の特徴から、指導の糸口を見いだすことをねらいとしました。



〔子どもを取り巻く人的要素とAからEの5区分の調査項目とのかかわり〕

(単純集計結果で着目した主な特徴)

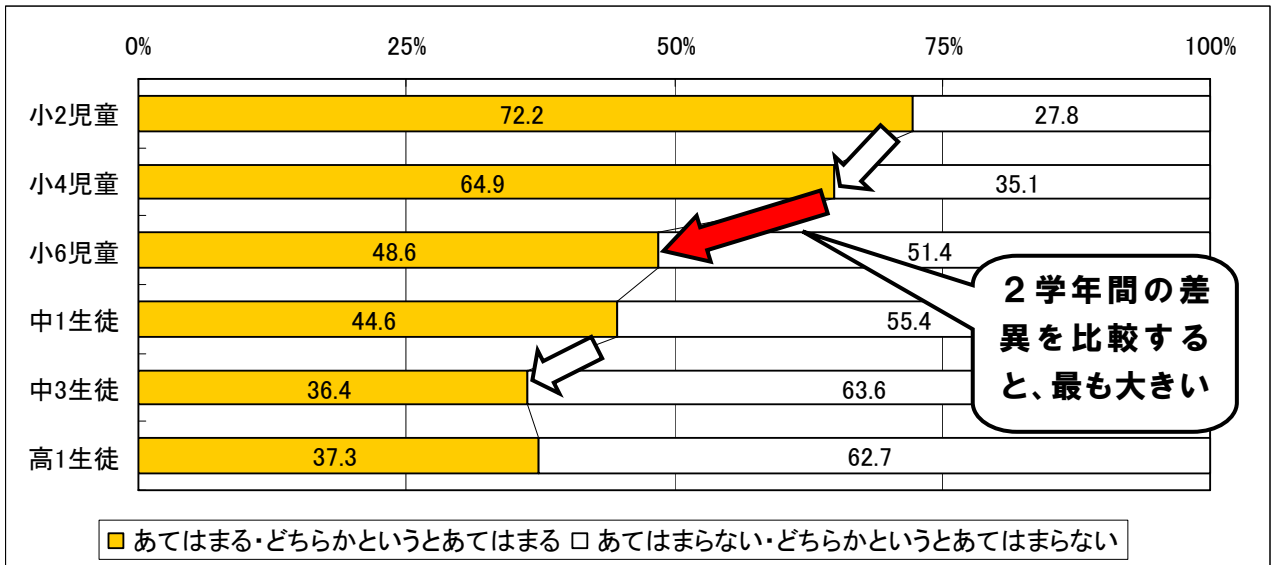
子どもたち同士で対話や話し合いができるような人間関係づくりについて、子どもたちの意識の特徴を把握しました。また、小2児童と高1生徒を調査対象に加えたことで、昨年度の調査で明らかになった小学校の中学年と高学年との間での意識の変化が、今年度の調査で、さらに浮き彫りになりました。

着目した主な特徴を、以下の6つにまとめました。

特徴1

コミュニケーションに関する子どもの意識は、学年が上がるにしたがって変化する。特に、小4から小6の小学校中学年から高学年の間の変化が顕著である。(例) B⑤

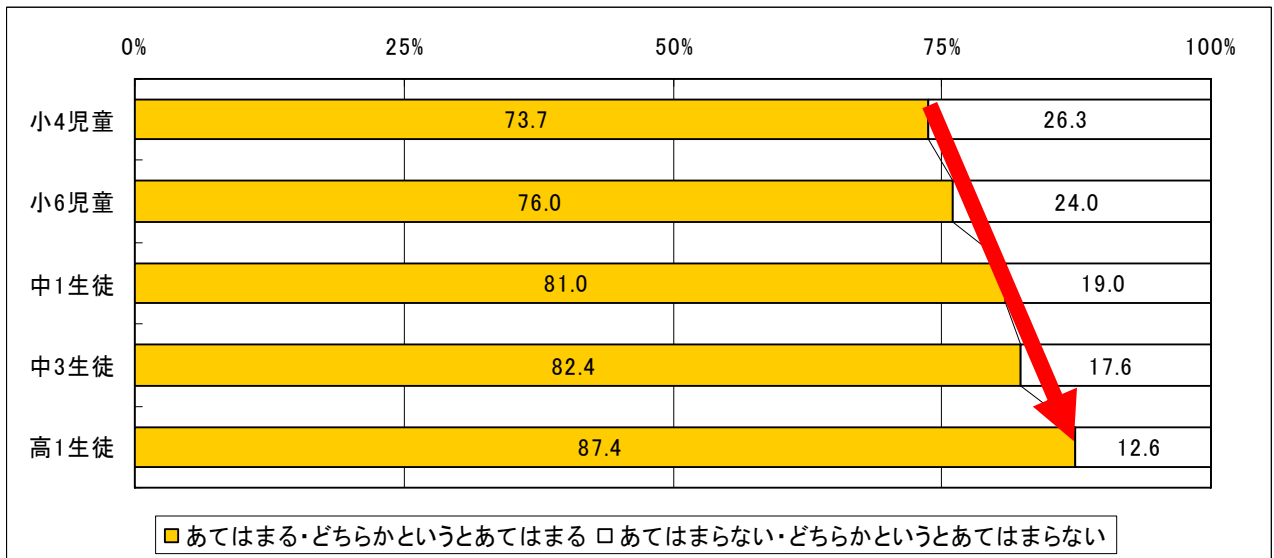
B⑤	わたしは、きまりややくそくについて、いえの人とはなす。	小2児童
B⑤	わたしは、決まりややくそくについて、家の人と話し合う。	小4・6児童
B⑤	私は、決まりや約束について、家の人と話し合う。	中1・3生徒
B⑤	私は、決まりや約束について、家の人と話し合う。	高1生徒



特徴2

学年が上がるほど、「大切だと思うことを、自分で考えて決めようとしている」という自立意識が高まると考えられる。(A⑤)

A⑤	私は、大切だと思うことは、自分で決めようとしている。	小4・6児童
A⑤	私は、大切だと思うことは、自分で決めようとしている。	中1・3生徒
A⑤	私は、大切だと思うことを、自分で考えて決めようとしている。	高1生徒

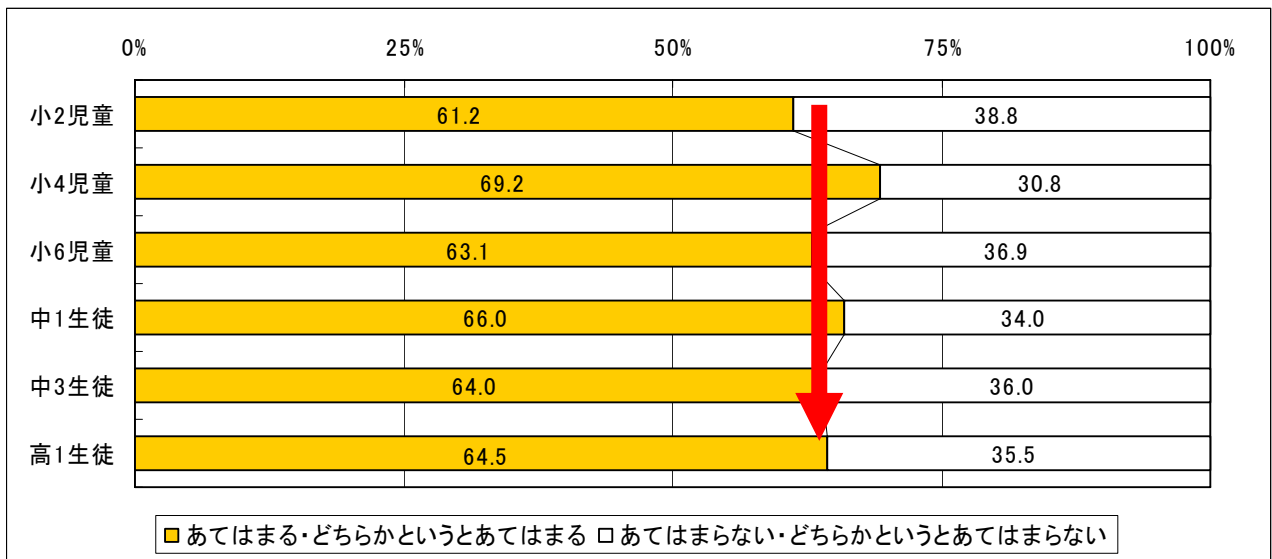


特徴3

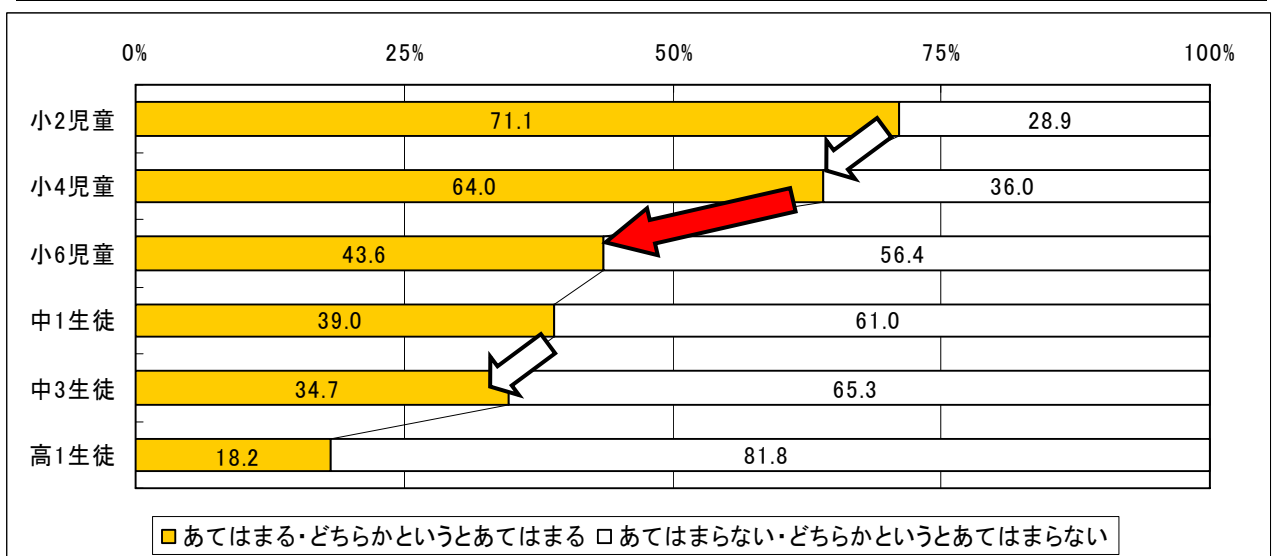
「みんなの前に出て発表するとき、とても緊張する」という意識は、学年が上がってもあまり変化しない。

一方、「教科の学習で、自分の考えを進んで発言している」ということについては、学年が上がるにしたがって割合が低くなる傾向が見られ、「みんなの前に出て発表するとき、とても緊張する」という意識とは、別な要因と関連していることが推察される。

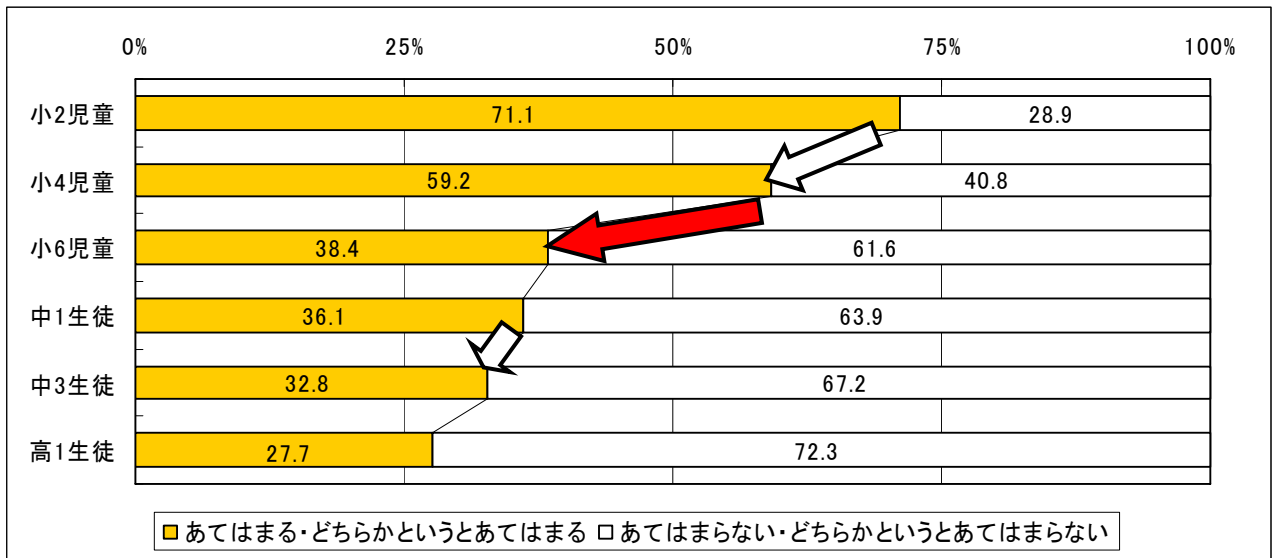
A③	わたしは、みんなのまえで はなすとき、とてもドキドキする。	小2児童
A④	わたしは、みんなの前に出て発表するとき、とてもきんちょうする。	小4・6児童
A④	私は、みんなの前に出て発表するとき、とても緊張する。	中1・3生徒
A④	私は、みんなの前に出て発表するとき、とても緊張する。	高1生徒



A①	わたしは、がっきゅうで、じぶんのかんがえをすすんで、はなしている。	小2児童
A①	わたしは、教科の学習で、自分の考えを進んで発言している。	小4・6児童
A①	私は、教科の学習で、自分の考えを進んで発言している。	中1・3生徒
A①	私は、教科の学習で、自分の考えを進んで発言している。	高1生徒



A①	わたしは、がっきゅうで、じぶんのかんがえをすすんで、はなしている。	小2児童
A②	わたしは、教科の学習いがいの学級の話し合いで、自分の考えを進んで発言している。	小4・6児童
A②	私は、教科の学習以外の学級の話し合いで、自分の考えを進んで発言している。	中1・3生徒
A②	私は、教科の学習以外の学級の話し合いで、自分の考えを進んで発言している。	高1生徒

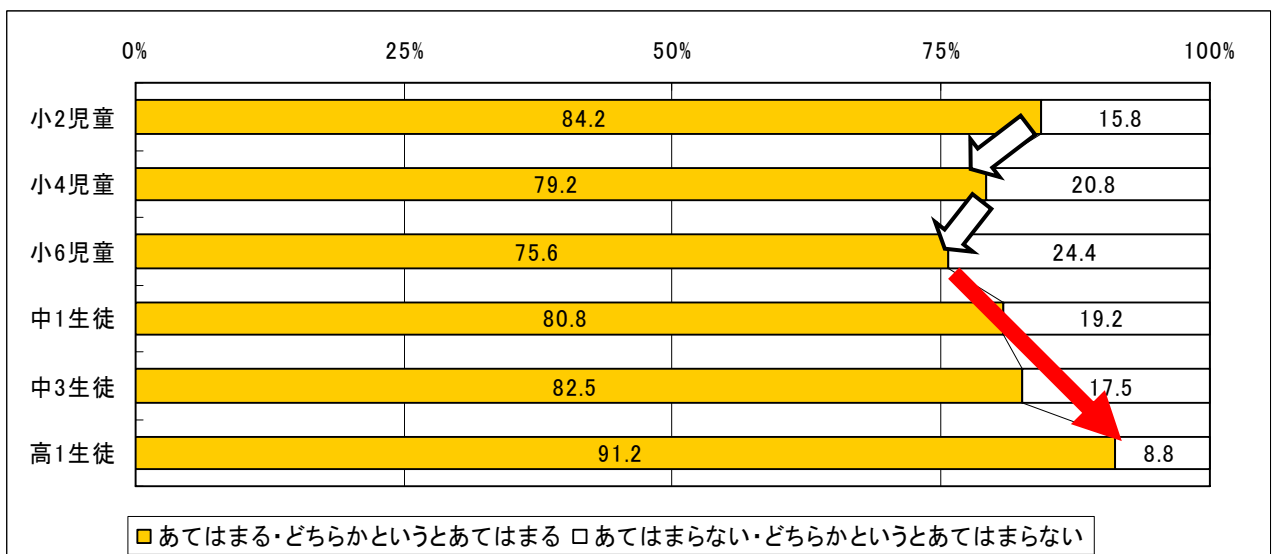


特徴4

「Aあなたのふだんのように」の項目のうち、友だちとのかかわりの項目は、「あてはまる」、「どちらかというあてはまる」の肯定的回答の割合が、小2、小4、小6については、特徴1と同様に学年が上がるにしたがって割合が低くなっている。

一方、中1、中3、高1については、学年が上がるにしたがって割合が高くなっている。

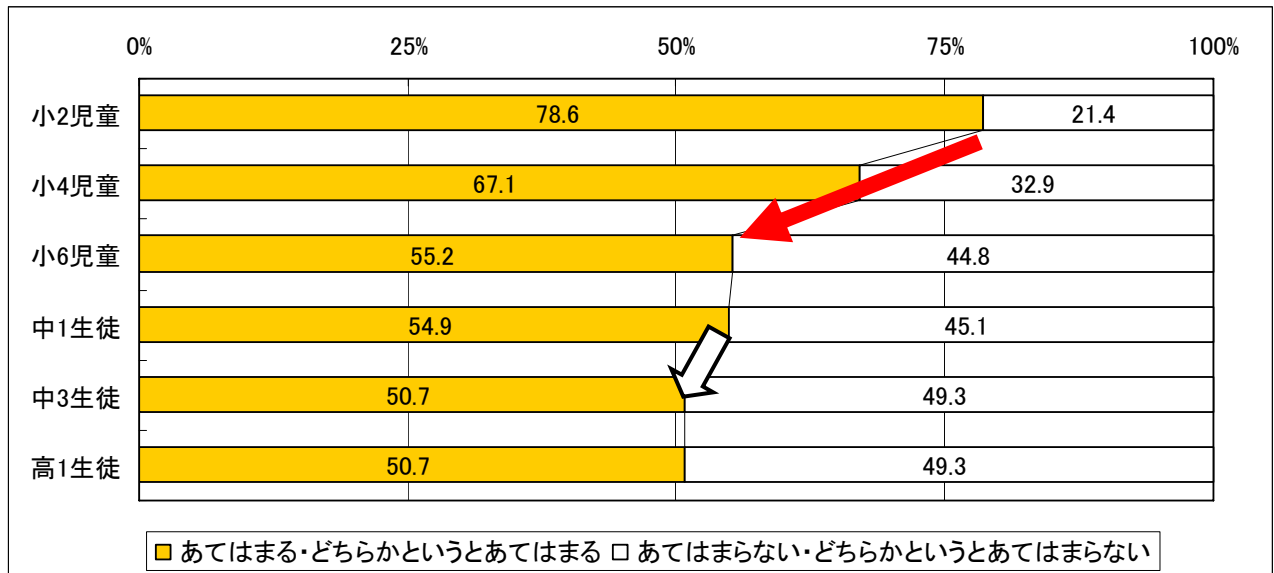
A④	わたしは、ともだちの気持ちをかんがえながら、はなしをきいている。	小2児童
A⑦	わたしは、友だちの気持ちを考えながら話を聞いている。	小4・6児童
A⑦	私は、友達の気持ちを考えながら話を聞いている。	中1・3生徒
A⑦	私は、友達の気持ちを考えながら話を聞いている。	高1生徒



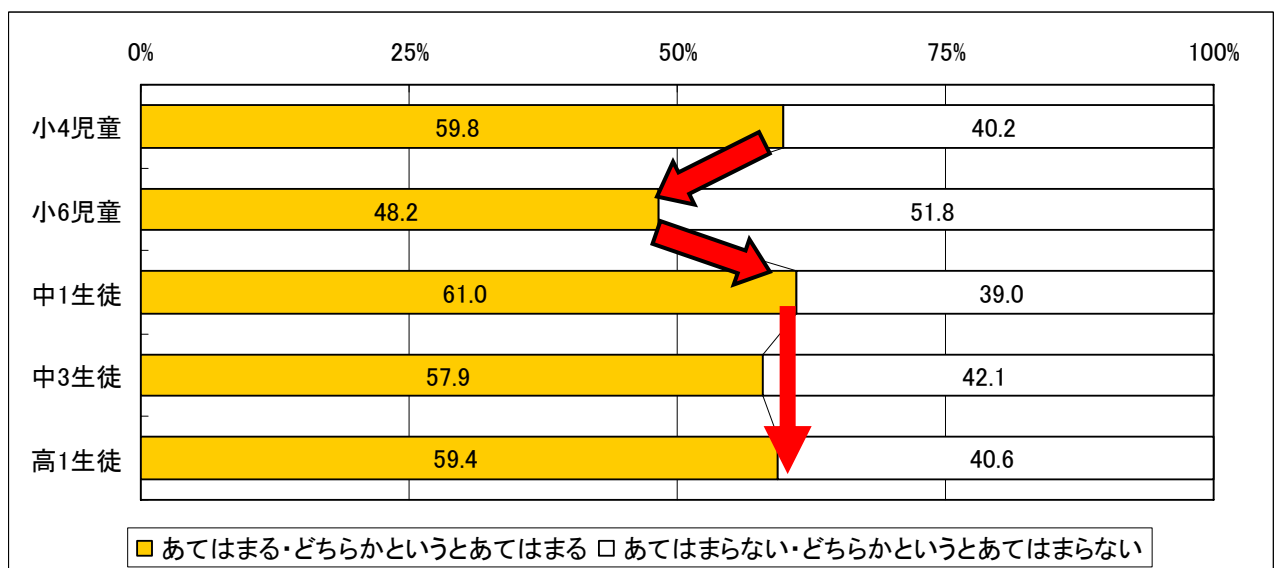
特徴5

小学校では、問題点をなくすための話し合いの場は、主に学級であるが、中学校や高校では、生徒会や部活動などが加わると考えられる。小6以降、大きな意識の変化は見られない。

D②	がっきゅうでこまったことがあったとき、みんなで、はなし合うことができる。	小2児童
D③	学級では、問題点をなくすため、そのことをみんなで話題にすることができる。	小4・6児童
D③	学級では、問題点を解決するため、そのことをみんなで話題にすることができる。	中1・3生徒
D③	学級では、問題点を解決するため、そのことをみんなで話題にすることができる。	高1生徒



D④	ほかの学年の人との活動では、問題点をなくすため、そのことをみんなで話題にすることができる。	小4・6児童
D④	生徒会活動や部活動では、問題点を解決するため、そのことをみんなで話題にすることができる。	中1・3生徒
D④	生徒会活動や部活動では、問題点を解決するため、そのことをみんなで話題にすることができる。	高1生徒

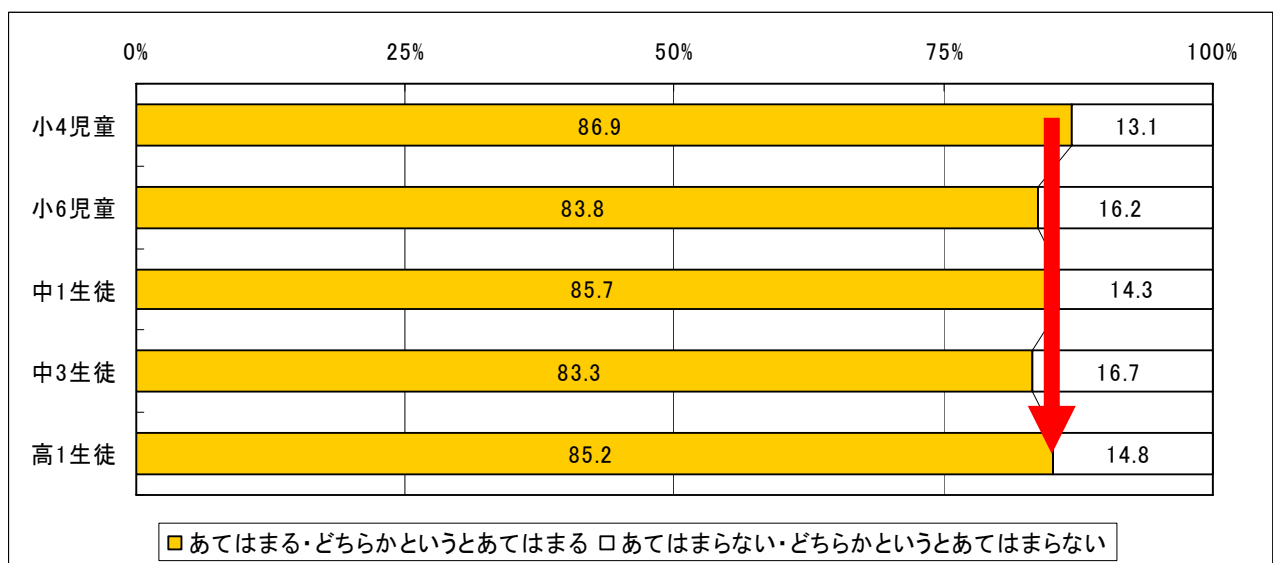


特徴6

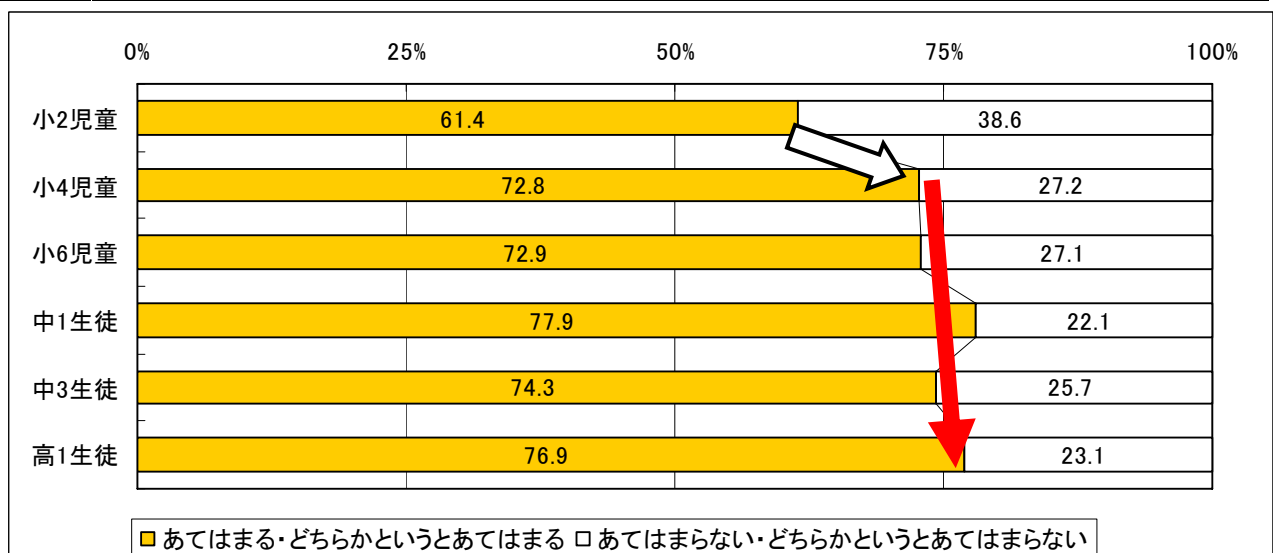
「教科の学習で、友達の発言を聞くことは、自分のためになると思う」という項目については、「あてはまる」、「どちらかというにあてはまる」の肯定的回答の割合が、学年が上がってもあまり変化しない。

また、わからないことを友達と教え合うことについては、「あてはまる」、「どちらかというにあてはまる」の肯定的回答の割合が、小2から小4の間で増えるが、小4以降は、学年が上がってもあまり変化しない。

A⑧	わたしは、教科の学習で、友だちの発言を聞くことは、自分のためになると思う。	小4・6児童
A⑧	私は、教科の学習で、友達の発言を聞くことは、自分のためになると思う。	中1・3生徒
A⑧	私は、教科の学習で、友達の発言を聞くことは、自分のためになると思う。	高1生徒



A⑤	わたしは、じゅぎょうでは、ともだちとおしえあって、べんきょうしている。	小2児童
A⑩	わたしは、教科の学習で、わからないことを友だちと教え合っている。	小4・6児童
A⑩	私は、教科の学習で、わからないことを友達と教え合っている。	中1・3生徒
A⑩	私は、教科の学習で、わからないことを友達と教え合っている。	高1生徒



補足：今後の分析について

児童生徒、教師、保護者の回答を比較したり、項目間のクロス集計を行ったりして、現状を多面的にとらえ、指導の糸口を見いだします。平成20年3月には、単純集計結果とともに報告書にまとめる予定です。

児童生徒、教師、保護者の回答を比較の例：「きまりや約束」についての項目



きっかけづくりは、まず学校から

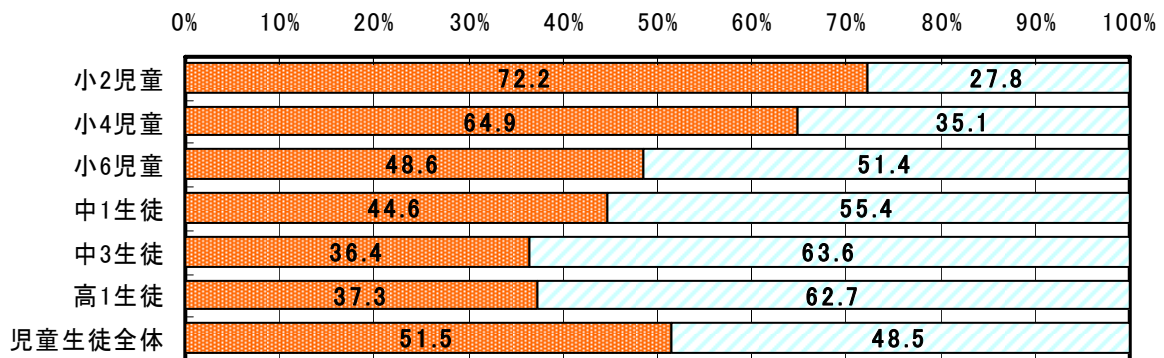
大多数の保護者は、機会があれば、「きまり」や「約束」について子どもと話そうと思っていることが、次の調査結果から分かります。学校が家庭に積極的に働きかけて、身近なルールやマナーについて、話題にしてもらおう機会をつくるのが大切であると考えられます。

「きまり」や「約束」について、話題にしようと思っている保護者は8割を超えています。

● 調査対象

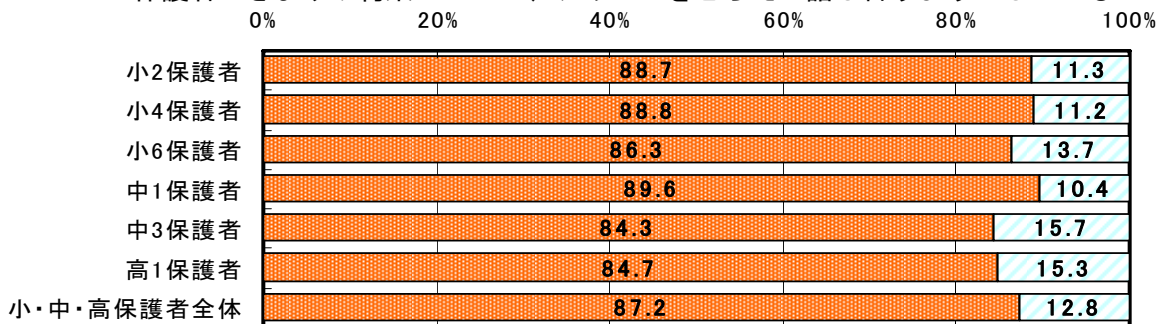
児童生徒	2,391名	(小1,284 中756 高351)
保護者	2,250名	(小1,227 中710 高313)
担任教師	628名	(小 181 中154 高293)

児童生徒：きまりや約束について、家の人と話し合う。



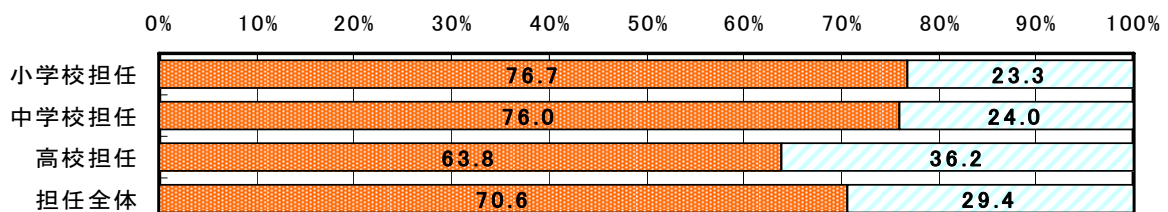
■ あてはまる・どちらかというにあてはまる □ あてはまらない・どちらかというにあてはまらない

保護者：きまりや約束について、チャンスをとらえて話し合うようにしている



■ あてはまる・どちらかというにあてはまる □ あてはまらない・どちらかというにあてはまらない

教師：決まりや約束について、チャンスをとらえて家庭で話題にするよう、生徒や保護者に働きかけている

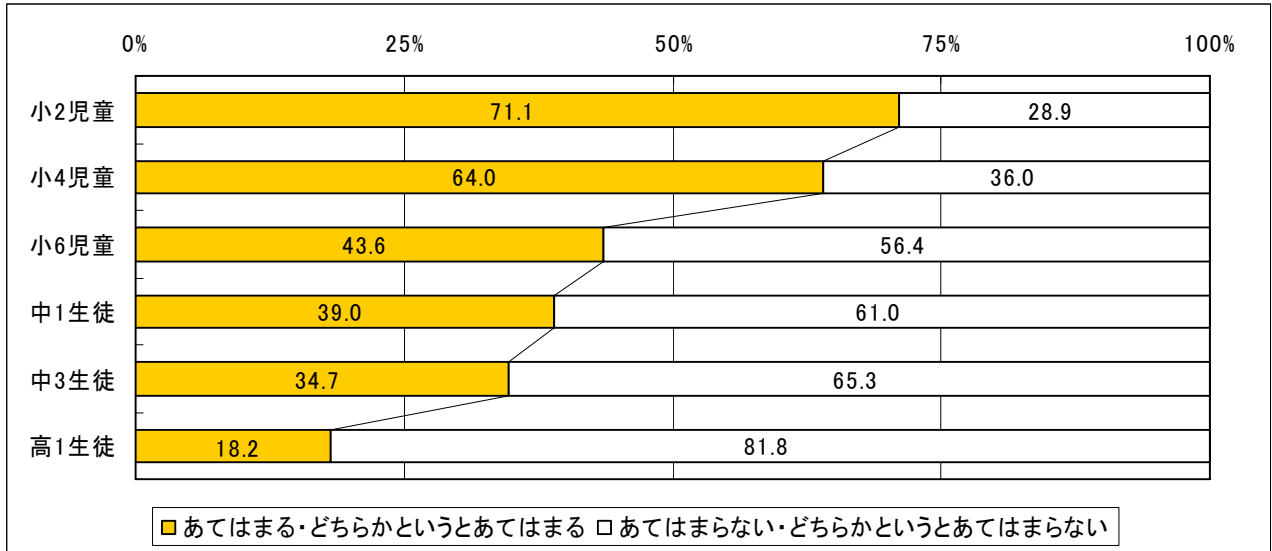


■ あてはまる・どちらかというにあてはまる □ あてはまらない・どちらかというにあてはまらない

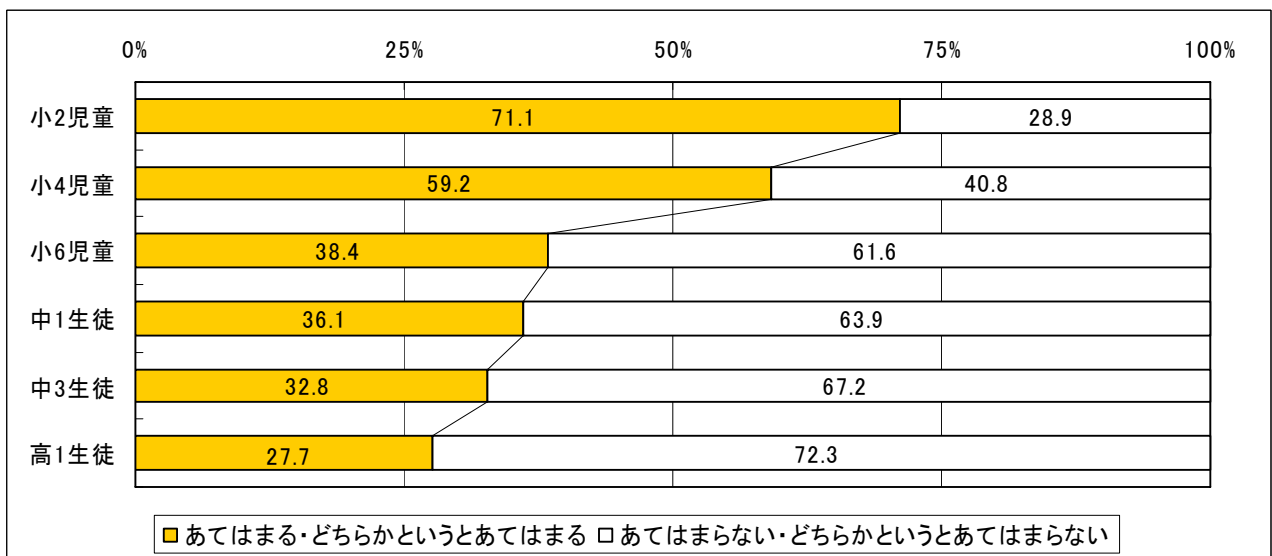
単純集計結果（児童・生徒の回答）

A あなたのふだんのようす

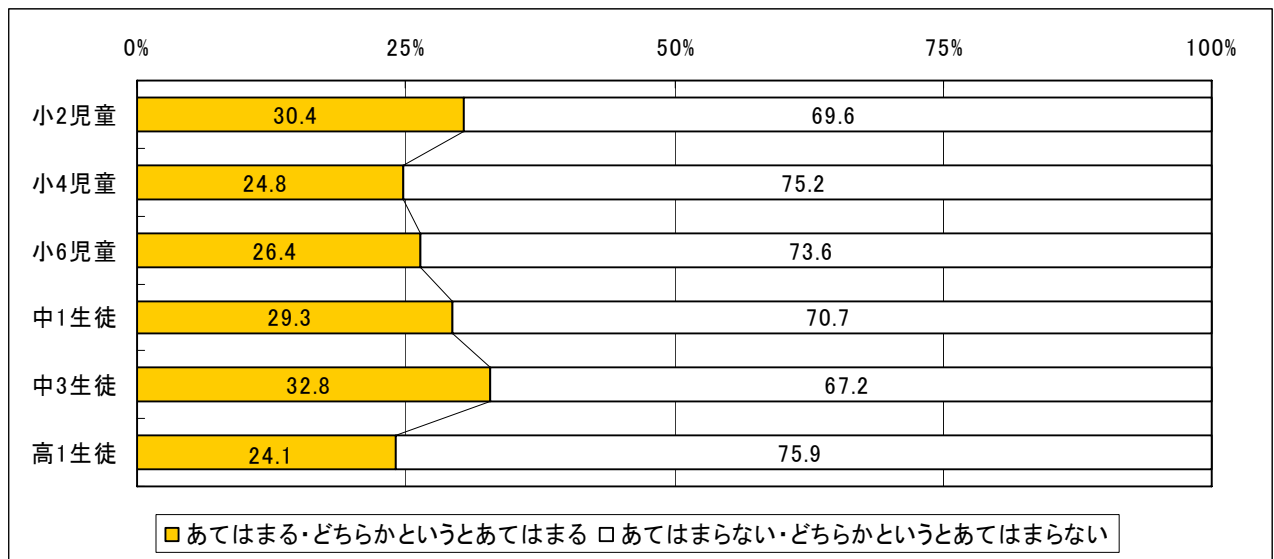
A①	わたしは、がっきゅうで、じぶんのかんがえをすすんで、はなしている。	小2児童
A①	わたしは、教科の学習で、自分の考えを進んで発言している。	小4・6児童
A①	私は、教科の学習で、自分の考えを進んで発言している。	中1・3生徒
A①	私は、教科の学習で、自分の考えを進んで発言している。	高1生徒



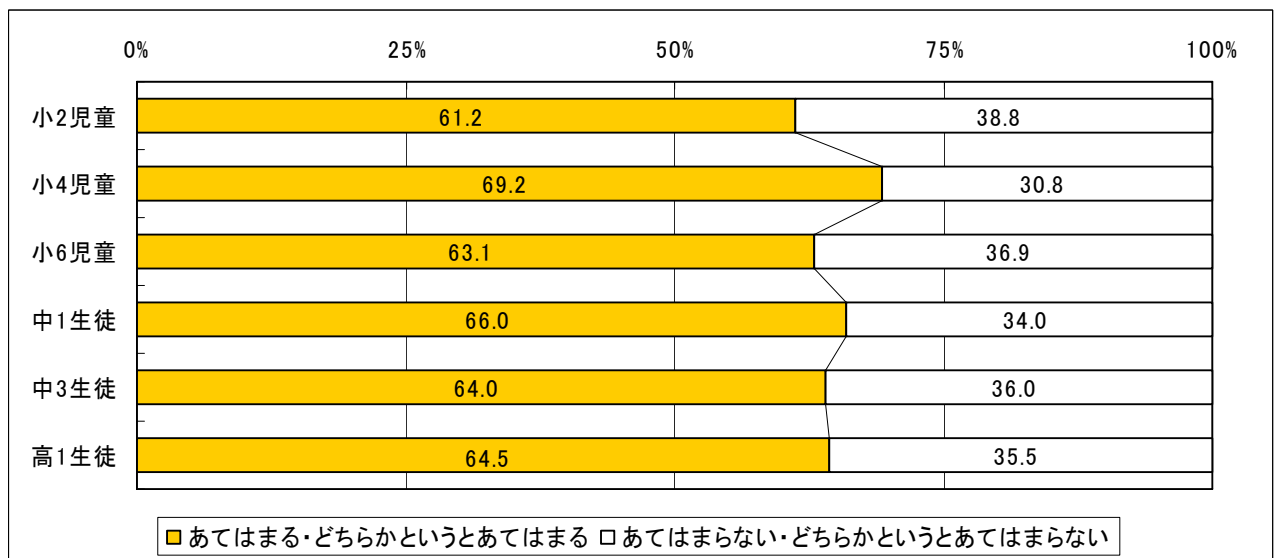
A①	わたしは、がっきゅうで、じぶんのかんがえをすすんで、はなしている。	小2児童
A②	わたしは、教科の学習いがいの学級の話し合いで、自分の考えを進んで発言している。	小4・6児童
A②	私は、教科の学習以外の学級の話し合いで、自分の考えを進んで発言している。	中1・3生徒
A②	私は、教科の学習以外の学級の話し合いで、自分の考えを進んで発言している。	高1生徒



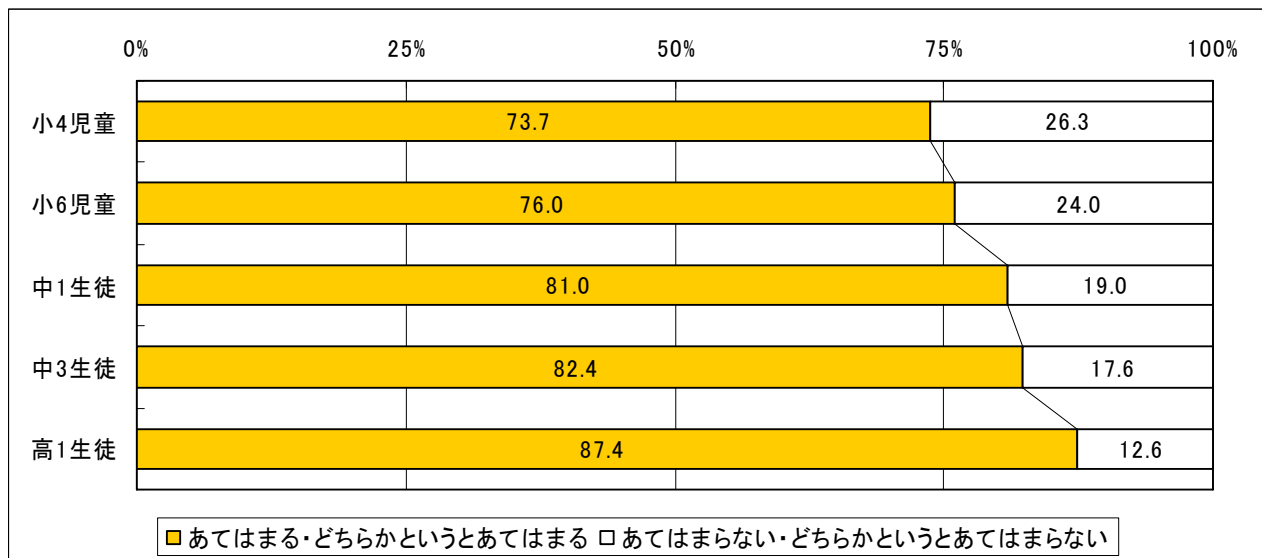
A②	わたしは、きょうしつで、いらいらして、がまんできないことがある。	小2児童
A③	わたしは、学級で、イライラしてがまんできないときがある。	小4・6児童
A③	私は、学級で、イライラしてがまんできないときがある。	中1・3生徒
A③	私は、学級で、イライラしてがまんできないときがある。	高1生徒



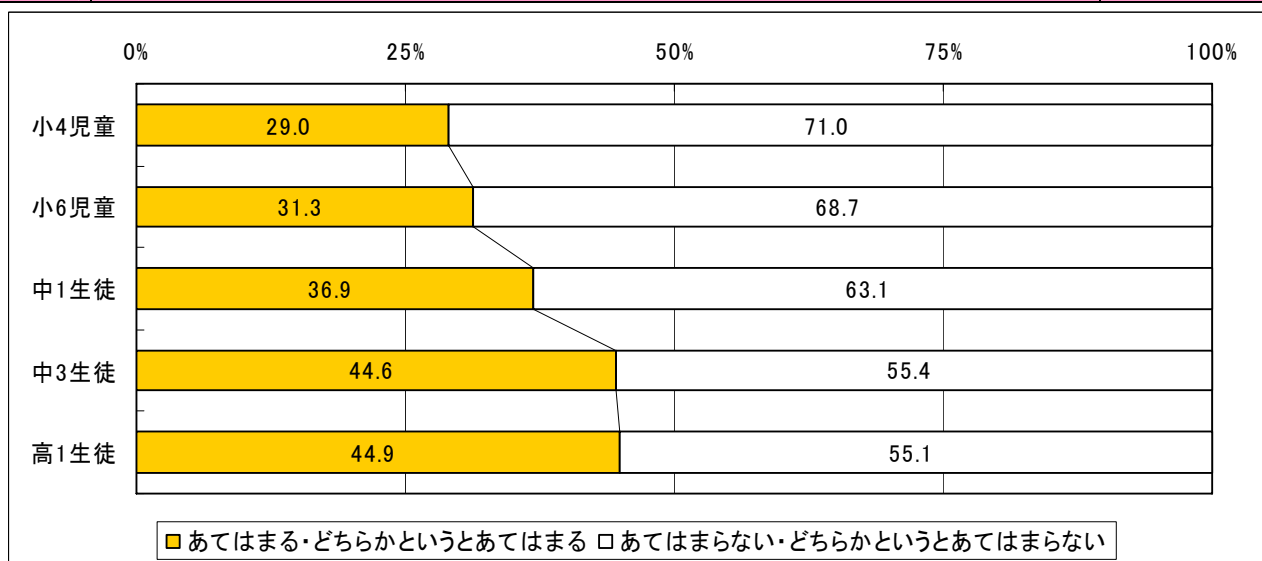
A③	わたしは、みんなのまえで はなすとき、とてもドキドキする。	小2児童
A④	わたしは、みんなの前に出て発表するとき、とてもきんちょうする。	小4・6児童
A④	私は、みんなの前に出て発表するとき、とても緊張する。	中1・3生徒
A④	私は、みんなの前に出て発表するとき、とても緊張する。	高1生徒



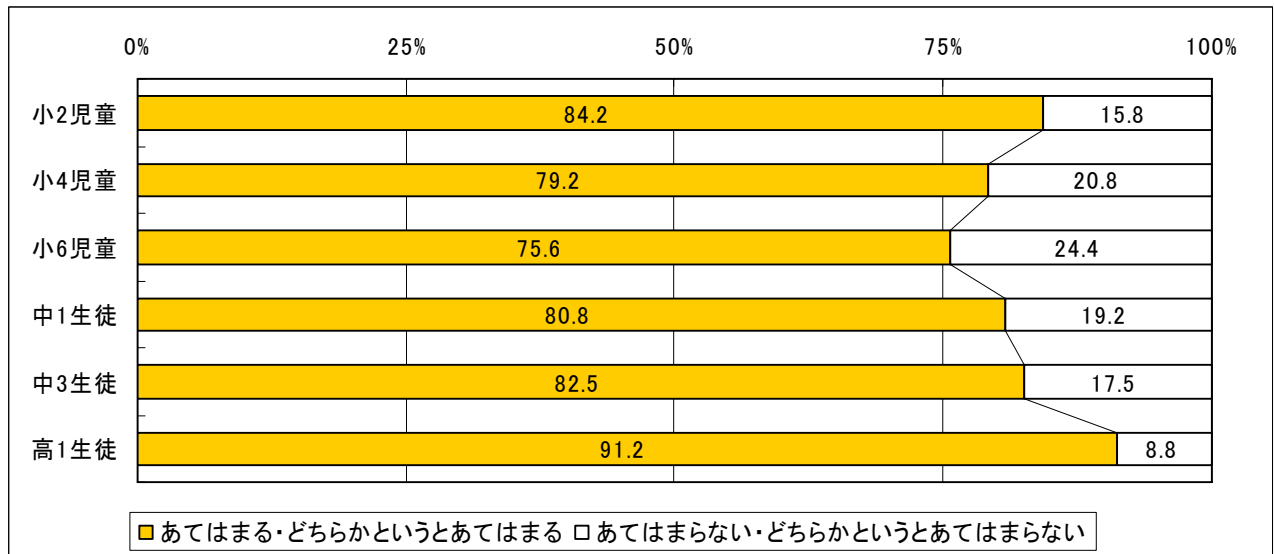
A⑤	私は、大切だと思うことは、自分で決めようとしている。	小4・6児童
A⑤	私は、大切だと思うことは、自分で決めようとしている。	中1・3生徒
A⑤	生徒は、大切だと思うことを、自分で考えて決めようとしている。	高1生徒



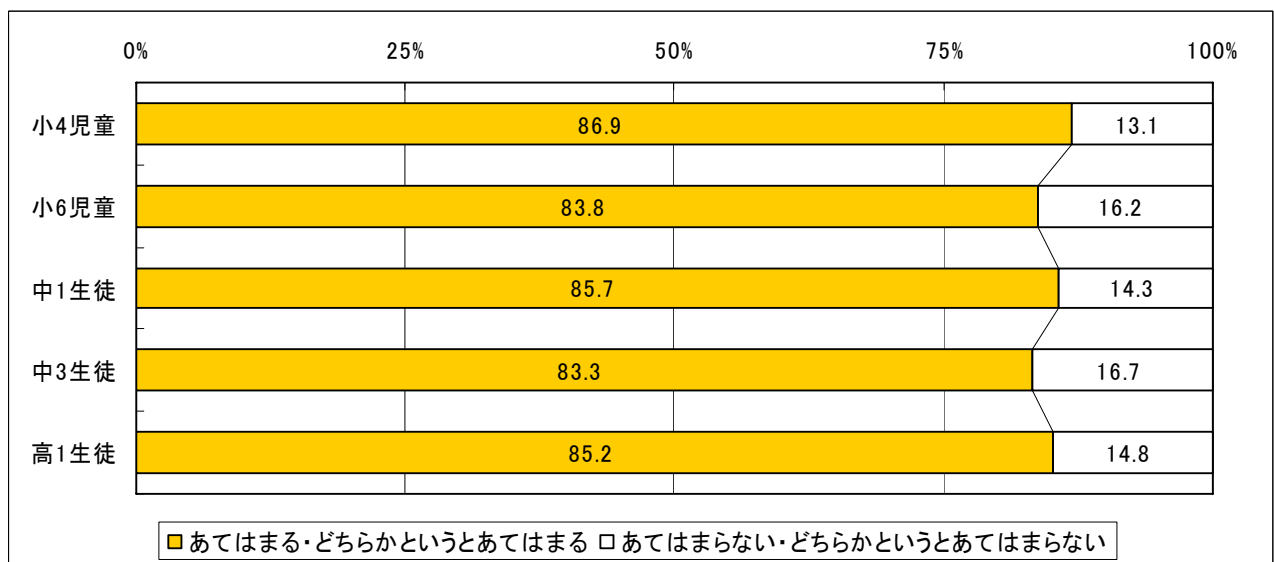
A⑥	わたしは、むちゅうになると、まわりの人の意見を聞かなくなることがある。	小4・6児童
A⑥	私は、夢中になると、周りの人の意見を聞かなくなることがある。	中1・3生徒
A⑥	私は、夢中になると、周りの人の意見を聞かなくなることがある。	高1生徒



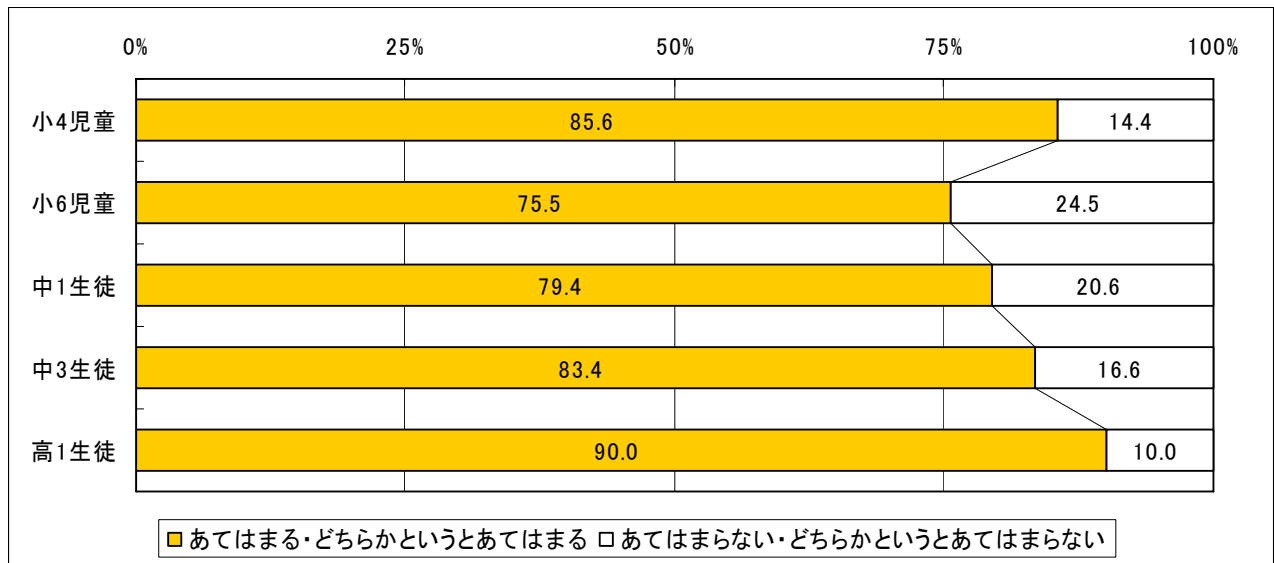
A④	わたしは、ともだちの気持ちを かんがえながら、はなしを きいている。	小2児童
A⑦	わたしは、友だちの気持ちを考えながら話を聞いている。	小4・6児童
A⑦	私は、友達の気持ちを考えながら話を聞いている。	中1・3生徒
A⑦	私は、友達のことを考えながら話を聞いている。	高1生徒



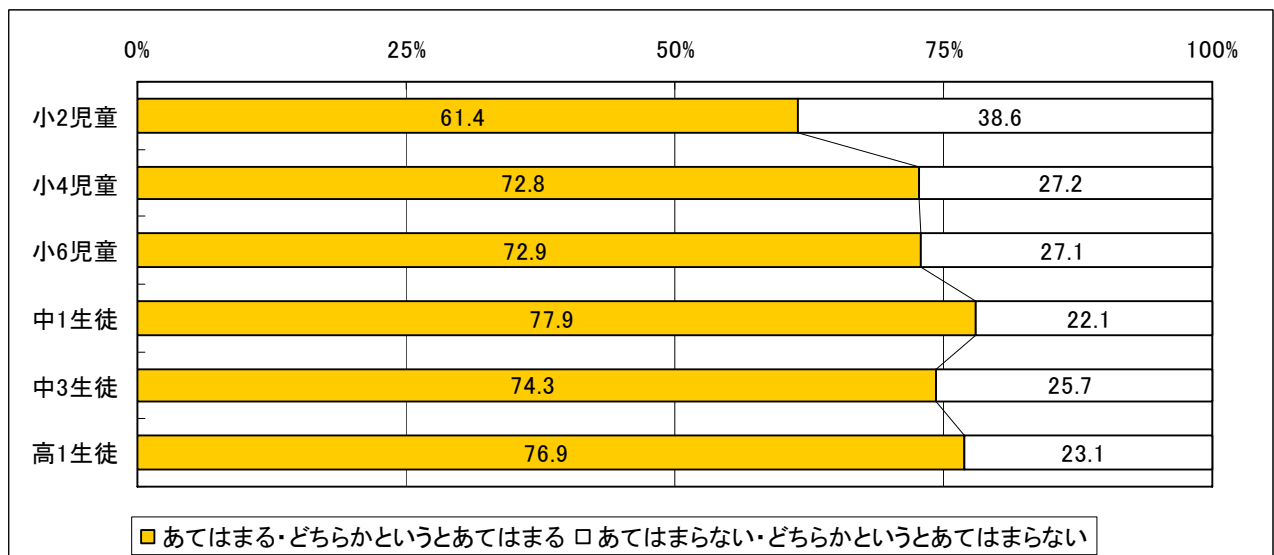
A⑧	わたしは、教科の学習で、友だちの発言を聞くことは、自分のためになると思う。	小4・6児童
A⑧	私は、教科の学習で、友達の発言を聞くことは、自分のためになると思う。	中1・3生徒
A⑧	私は、教科の学習で、友達の発言を聞くことは、自分のためになると思う。	高1生徒



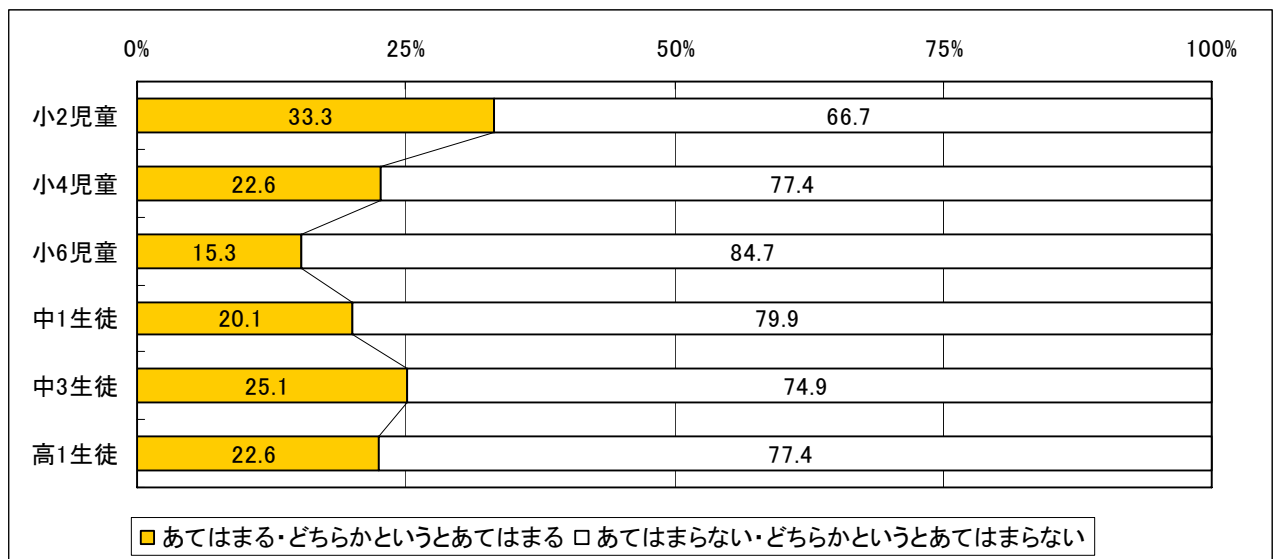
A⑨	わたしは、教科の学習以外で、友だちの発言を聞くことは、自分のためになると思う。	小4・6児童
A⑨	私は、教科の学習以外で、友達の発言を聞くことは、自分のためになると思う。	中1・3生徒
A⑨	私は、教科の学習以外で、友達の発言を聞くことは、自分のためになると思う。	高1生徒



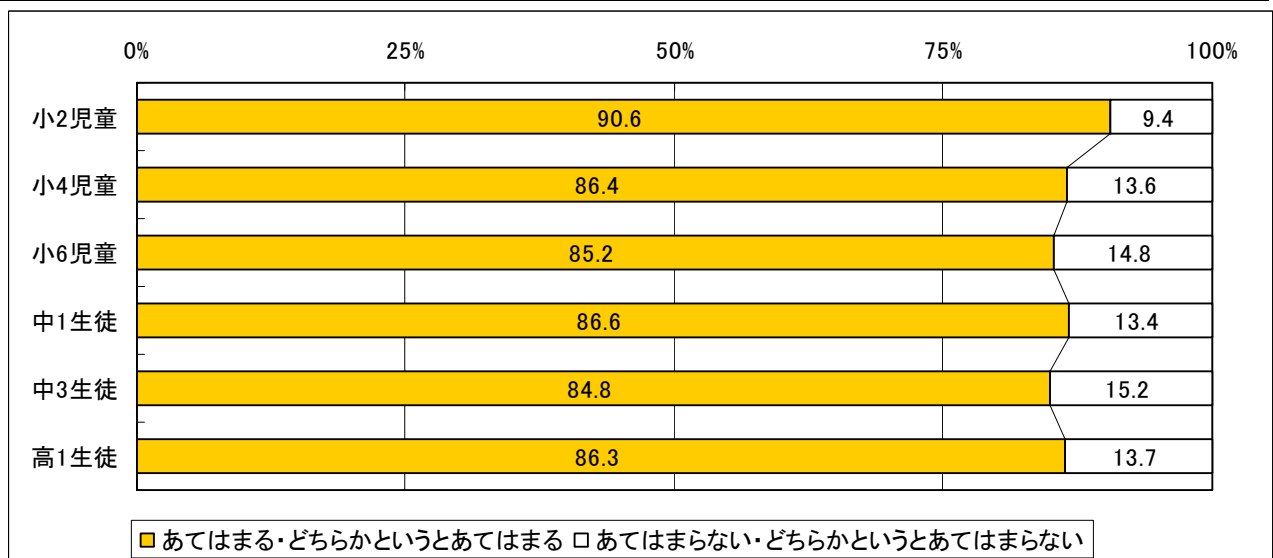
A⑤	わたしは、じゆぎょうでは、ともだちとおしえあつて、べんきょうしている。	小2児童
A⑩	わたしは、教科の学習で、わからないことを友だちと教え合っている。	小4・6児童
A⑩	私は、教科の学習で、わからないことを友達と教え合っている。	中1・3生徒
A⑩	私は、教科の学習で、わからないことを友達と教え合っている。	高1生徒



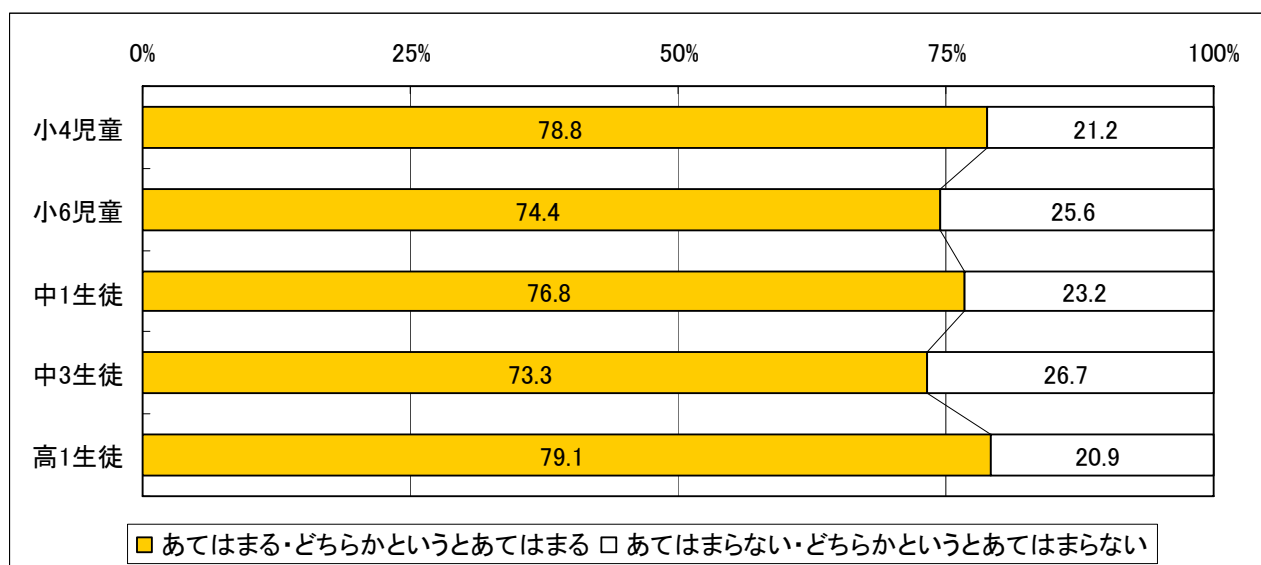
A⑥	わたしは、ともだちといけんがあわないことがあると、その人と、あまりはなしたくなくなる。	小2児童
A⑪	わたしは、友だちと意見が合わないことがあると、その人と、あまり話したくなくなる。	小4・6児童
A⑪	私は、友達と意見が合わないことがあると、その人と、あまり話したくなくなる。	中1・3生徒
A⑪	私は、友達と意見が合わないことがあると、その人と、あまり話したくなくなる。	高1生徒



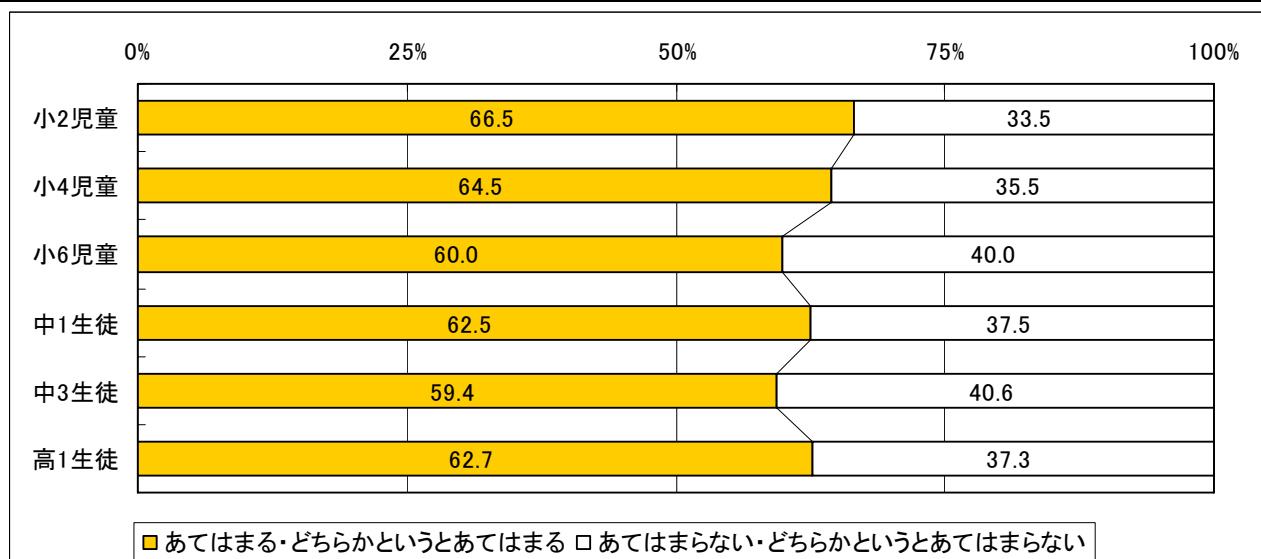
A⑦	わたしは、きまりや やくそくを、まもろうとしている。	小2児童
A⑫	わたしは、みんなで決めたきまりややくそくを、守ろうとしている。	小4・6児童
A⑫	私は、みんなで決めたきまりや約束を、守ろうとしている。	中1・3生徒
A⑫	私は、みんなで決めたきまりや約束を、守ろうとしている。	高1生徒



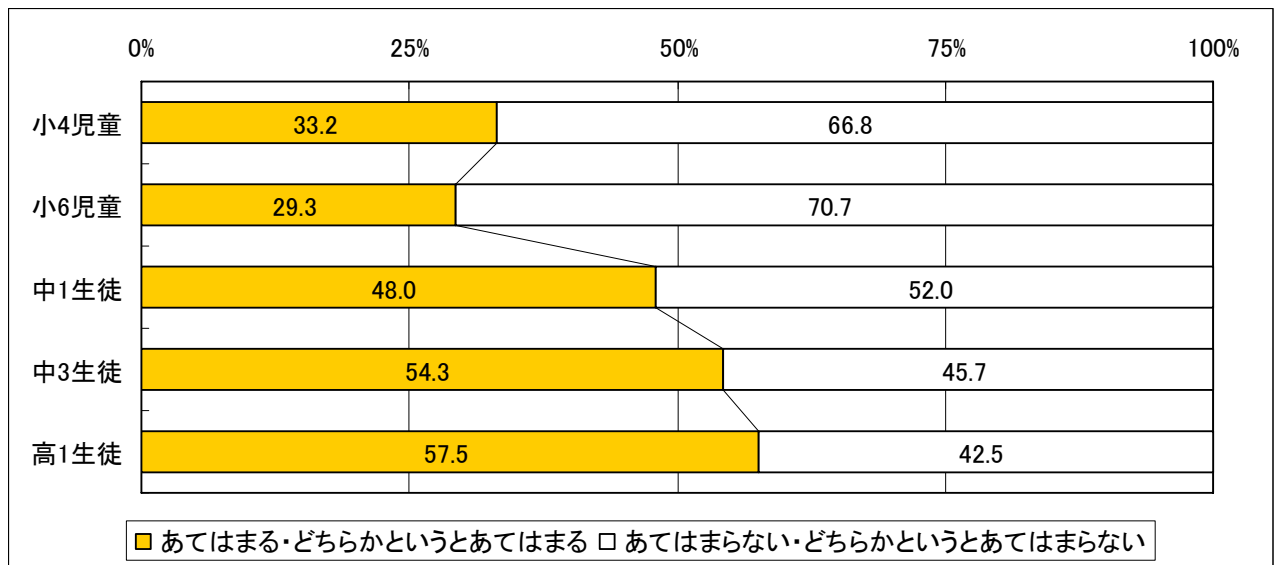
A⑬	わたしは、みんながこまっているとき、なんとかかいつしようとしている。	小4・6児童
A⑬	私は、みんなが困っているとき、なんとか解決しようとしている。	中1・3生徒
A⑬	私は、みんなが困っているとき、なんとか解決しようとしている。	高1生徒



A⑧	わたしは、こまったりなやんだりしたときに、ともだちにはなす。	小2児童
A⑭	わたしは、学校のことでこまったり、なやんだりしたとき、学級の友だちに話す。	小4・6児童
A⑭	私は、学校のことで困ったり、悩んだりしたとき、学級の友達に話す。	中1・3生徒
A⑭	私は、学校のことで困ったり、悩んだりしたとき、学級の友達に話す。	高1生徒

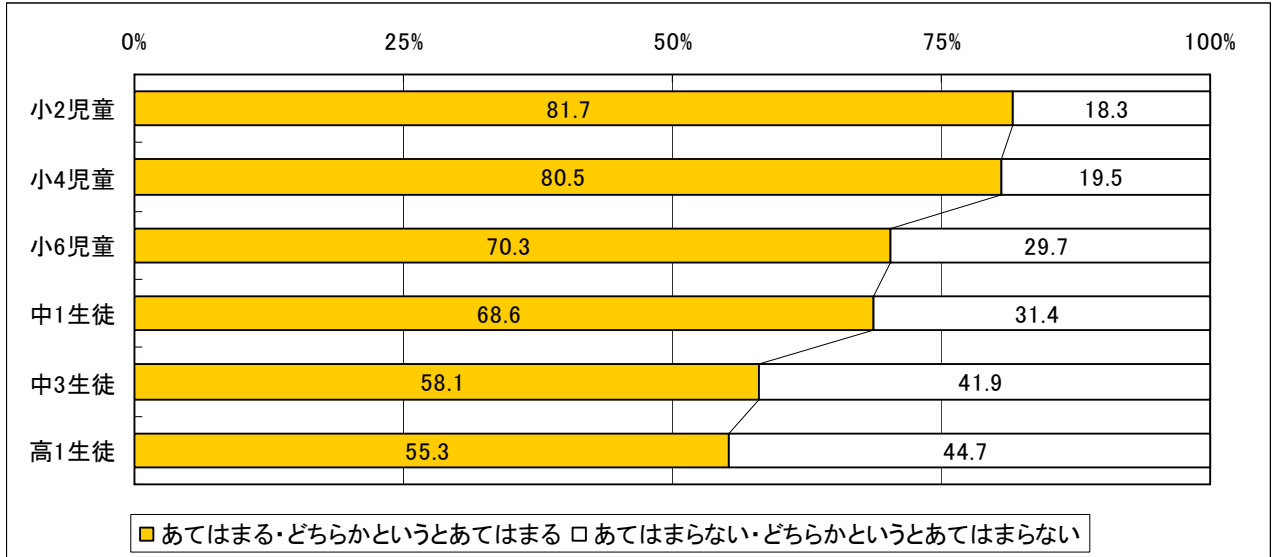


A⑮	わたしは、学校のことでこまったり、なやんだとき、同じ学級いがいの友だちに話す。	小4・6児童
A⑮	私は、学校のことで困ったり、悩んだりしたとき、同じ学級以外の友達に話す。	中1・3生徒
A⑮	私は、学校のことで困ったり、悩んだりしたとき、同じ学級以外の友達に話す。	高1生徒

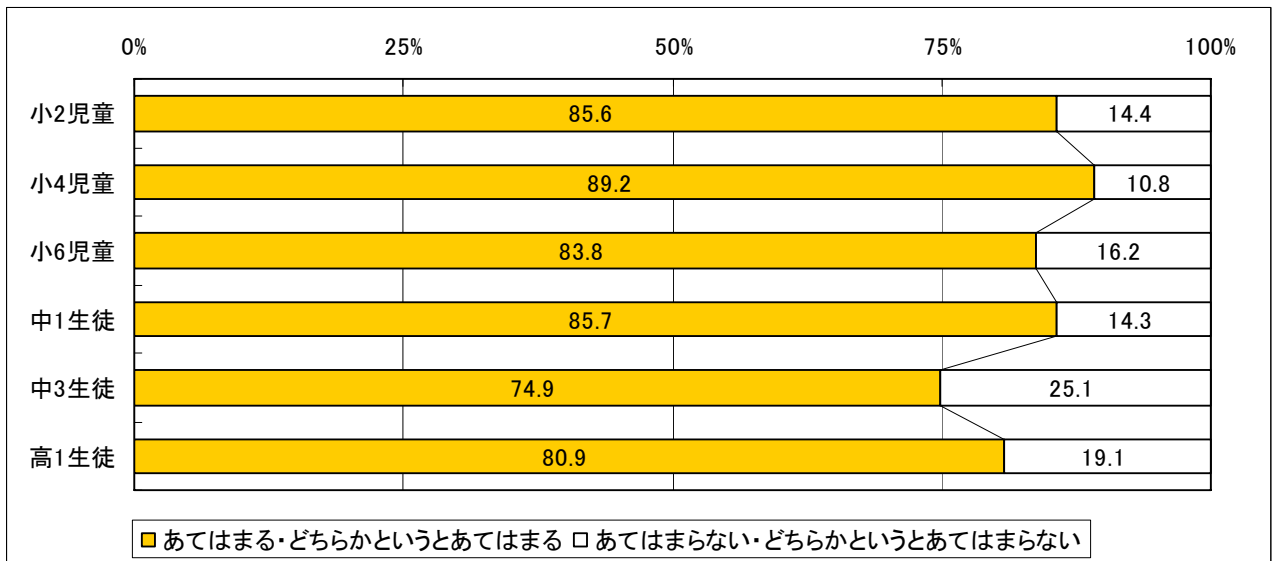


B 家族との対話について

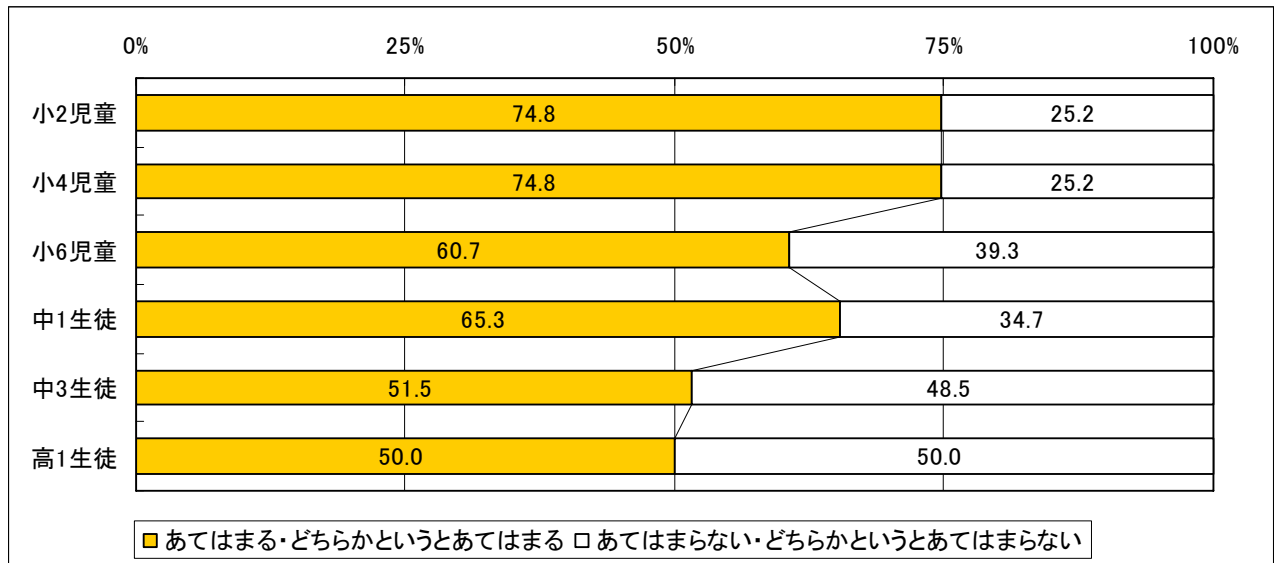
B①	わたしは、学校でのできごとを、いえの人にはなす。	小2児童
B①	わたしは、その日の学校でのできごとについて家の人に話す。	小4・6児童
B①	私は、その日の学校でのできごとについて家の人に話す。	中1・3生徒
B①	私は、その日の学校でのできごとについて家の人に話す。	高1生徒



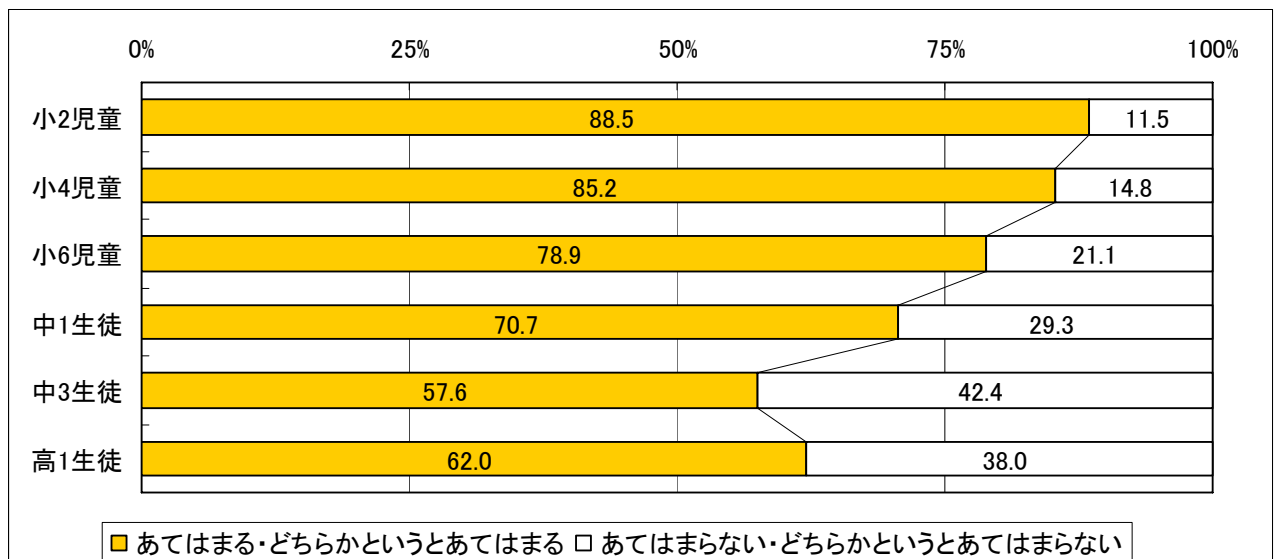
B②	学校でのできごとについて、わたしがはなすと、いえの人は、よくきいてくれる。	小2児童
B②	わたしが、その日の学校でのできごとについて話すと、家の人をよく聞いてくれる。	小4・6児童
B②	私がある日の学校でのできごとについて話すと、家の人をよく聞いてくれる。	中1・3生徒
B②	私がある日の学校でのできごとについて話すと、家の人をよく聞いてくれる。	高1生徒



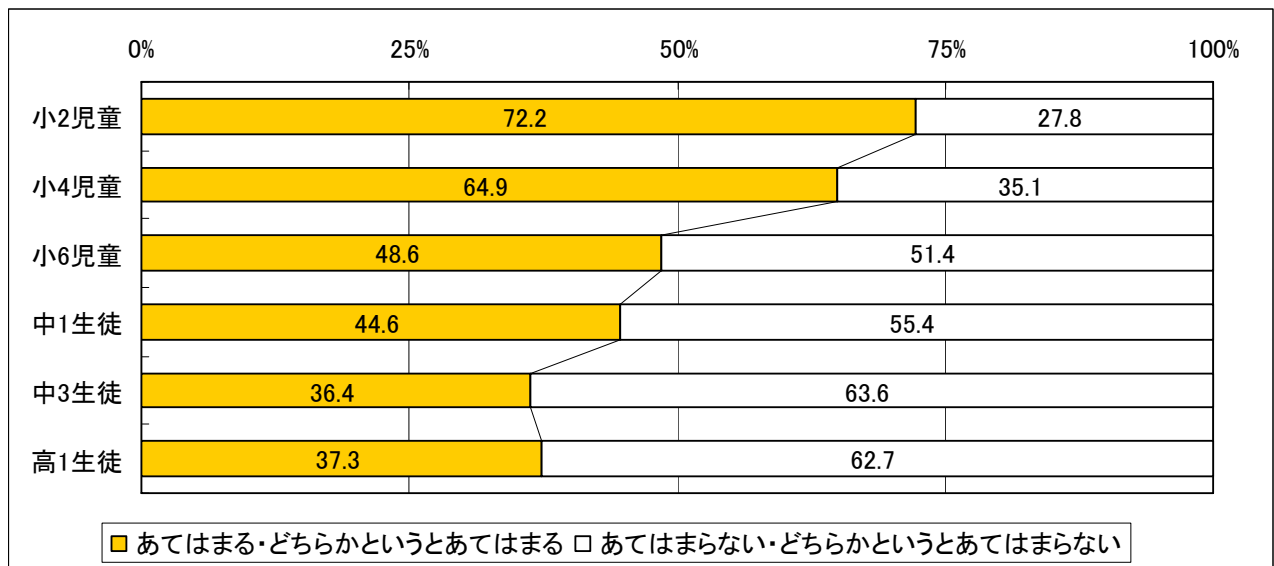
B③	わたしは、いえの人に、れんらくちょうやプリントをわたして、そのことをはなしている。	小2児童
B③	わたしは、学校からのれんらくやプリントがあると、その内容について家の人に話す。	小4・6児童
B③	私は、学校からの連絡やプリントがあると、その内容について家の人に話す。	中1・3生徒
B③	私は、学校からの連絡やプリントがあると、その内容について家の人に話す。	高1生徒



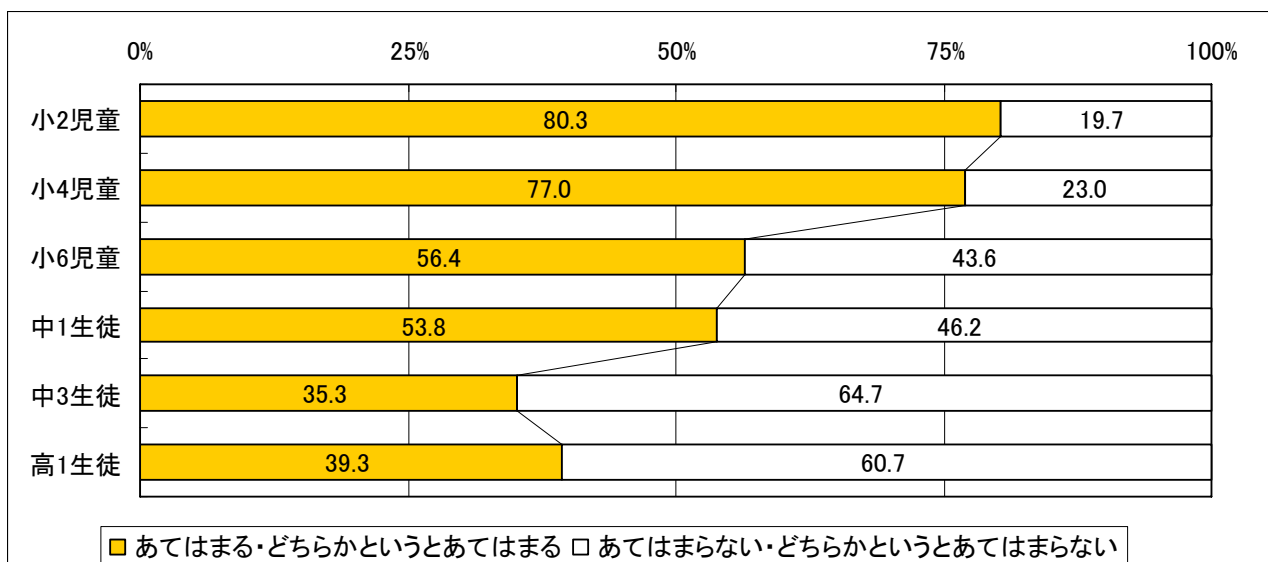
B④	わたしががんばったことを、いえの人は、ほめてくれる。	小2児童
B④	わたしが学校や家でがんばっていることを、家の人はほめてくれる。	小4・6児童
B④	私が学校や家庭でがんばっていることを、家の人はほめてくれる。	中1・3生徒
B④	私が学校や家庭でがんばっていることを、家の人はほめてくれる。	高1生徒



B⑤	わたしは、きまりややくそくについて、いえの人とはなす。	小2児童
B⑤	わたしは、決まりややくそくについて、家の人と話し合う。	小4・6児童
B⑤	私は、決まりや約束について、家の人と話し合う。	中1・3生徒
B⑤	私は、決まりや約束について、家の人と話し合う。	高1生徒

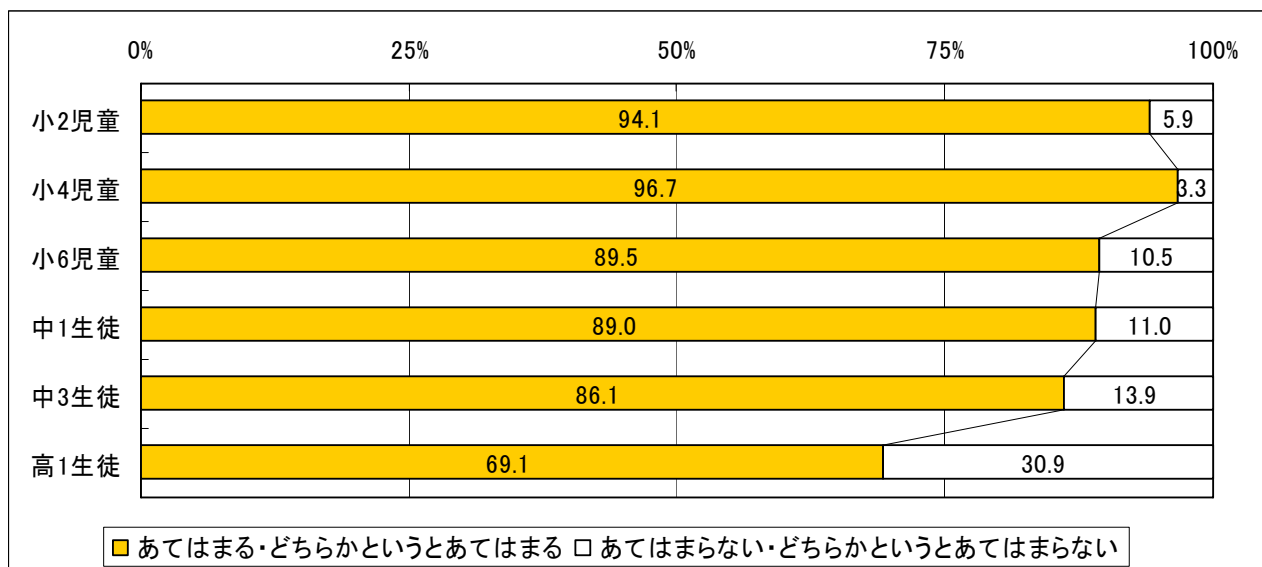


B⑥	わたしは、こまったことがあったら、いえの人に、はなす。	小2児童
B⑥	わたしは、こまったりなやんだりしたとき、そのことを家の人に話す。	小4・6児童
B⑥	私は、困ったり悩んだりしたとき、そのことを家の人に話す。	中1・3生徒
B⑥	私は、困ったり悩んだりしたとき、そのことを家の人に話す。	高1生徒

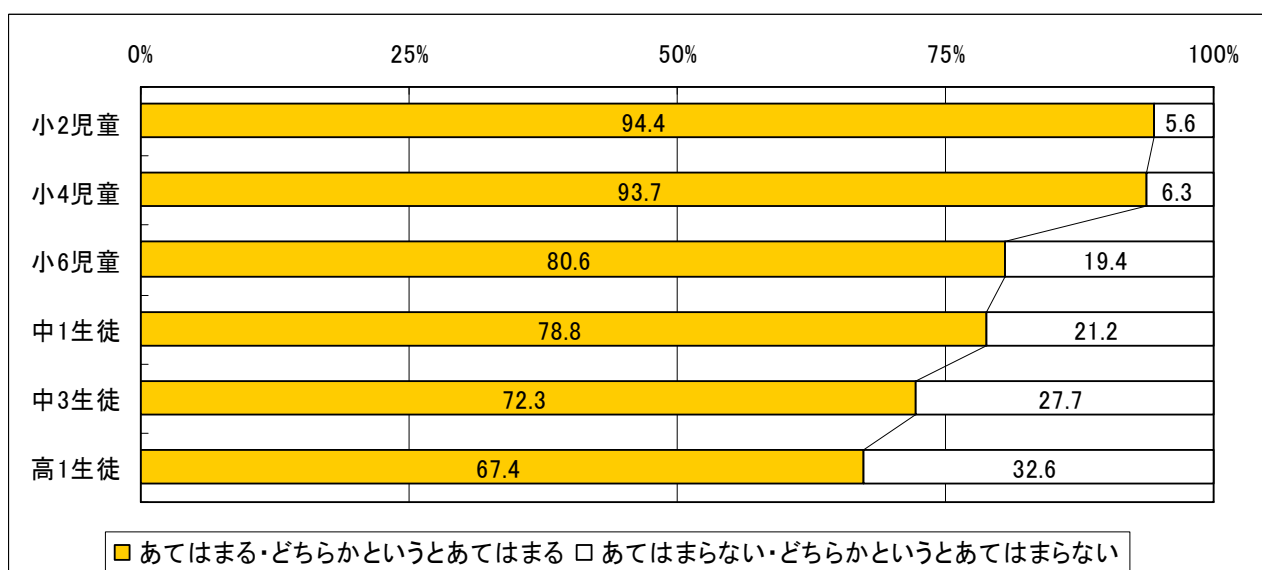


C 先生とのかかわり

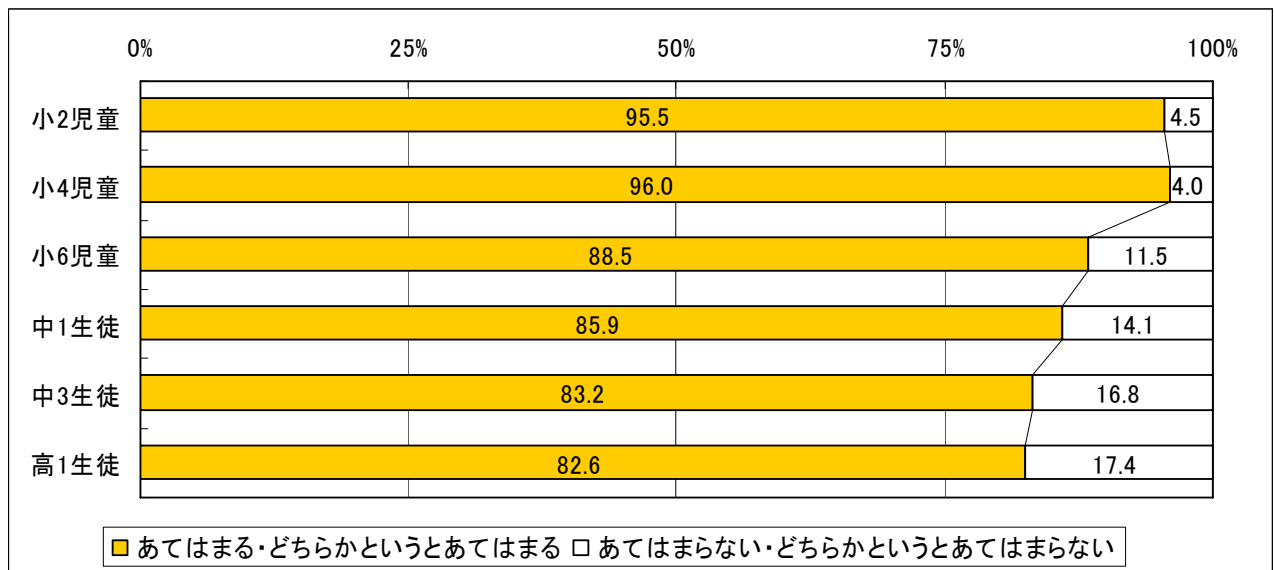
C①	先生は、あいさつをしたり、こえをかけたりしてくれる。	小2児童
C①	先生は、元気にあいさつしたり、声をかけてくれたりする。	小4・6児童
C①	先生は、元気にあいさつしたり、声をかけてくれたりする。	中1・3生徒
C①	先生は、元気にあいさつしたり、声をかけてくれたりする。	高1生徒



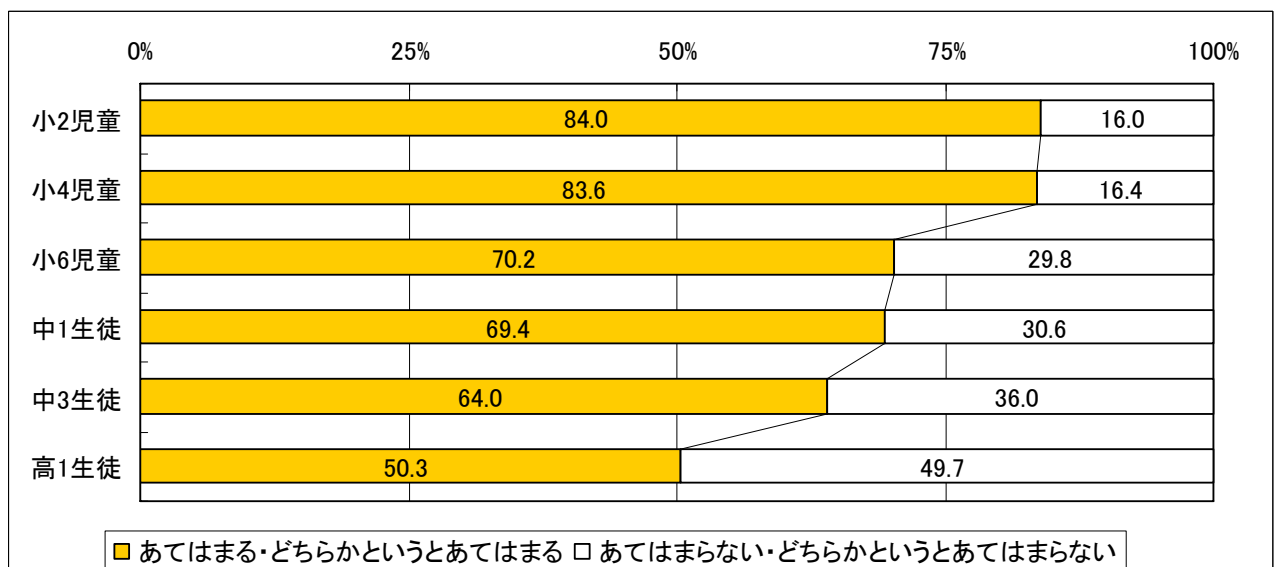
C②	先生は、わたしの気持ちをかんがえて、はなしをきいてくれる。	小2児童
C②	先生は、わたしの気持ちを考えて話を聞いてくれる。	小4・6児童
C②	先生は、私の気持ちを考えて話を聞いてくれる。	中1・3生徒
C②	先生は、私の気持ちを考えて話を聞いてくれる。	高1生徒



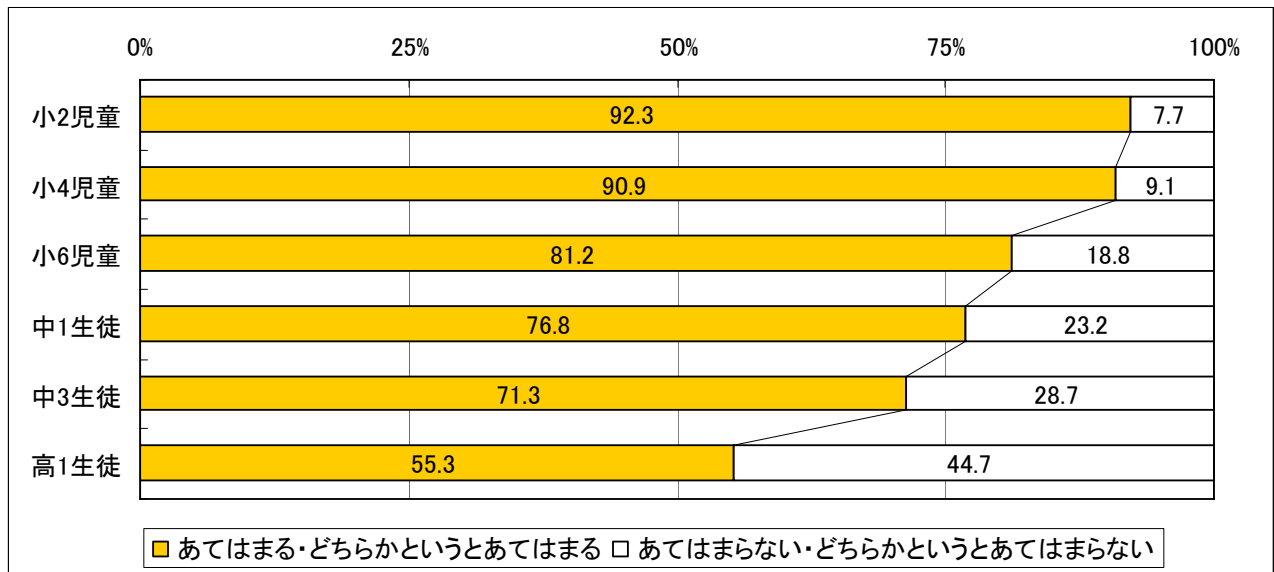
C③	せんせいの、あさのかいやかえりのかいはなしは、よくわかる。	小2児童
C③	先生の朝の会や帰りの会の話は、よくわかる。	小4・6児童
C③	先生の朝の会や帰りの会の話は、よくわかる。	中1・3生徒
C③	先生のショートホームルームの時間の話は、よくわかる。	高1生徒



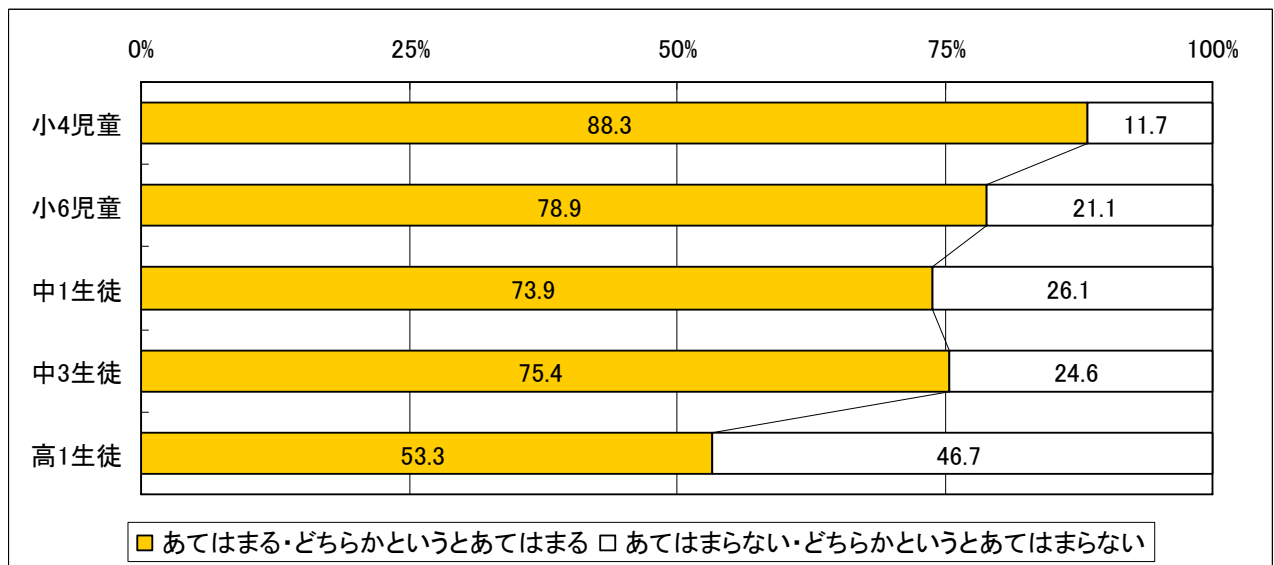
C④	先生は、そうじやきゅうしょくなどのときに、みんなときょうりょくすることのたいせつさを、はなしてくれる。	小2児童
C④	先生は、そうじやきゅうしょくなどのときに、みんなときょうりょくすることの大切さを話してくれる。	小4・6児童
C④	先生は、清掃や給食などのときに、みんなと協力することの大切さを話してくれる。	中1・3生徒
C④	先生は、清掃などのときに、みんなと協力することの大切さを話してくれる。	高1生徒



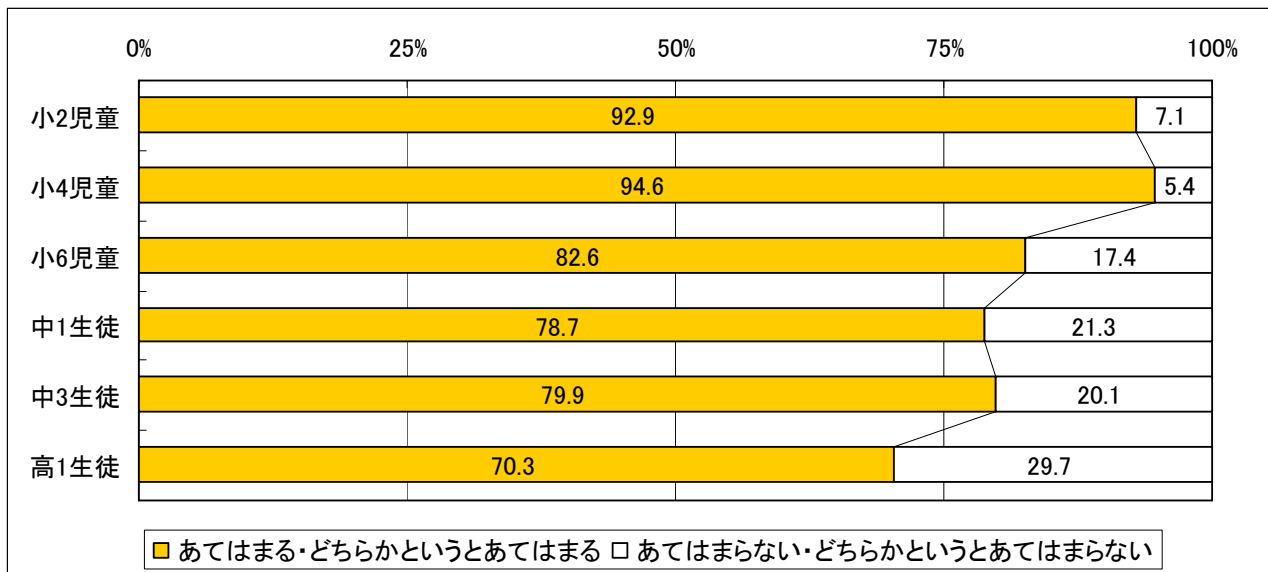
C⑤	先生は、じゅぎょうで、ともだちのはなしをよくきくように、いってくれる。	小2児童
C⑤	先生は、教科の学習で、友だちの発言をしんげんに聞くことの大切さを話してくれる。	小4・6児童
C⑤	先生は、教科の学習で、友達の発言を真剣に聞くことの大切さを話してくれる。	中1・3生徒
C⑤	先生は、教科の学習で、友達の発言を真剣に聞くことの大切さを話してくれる。	高1生徒



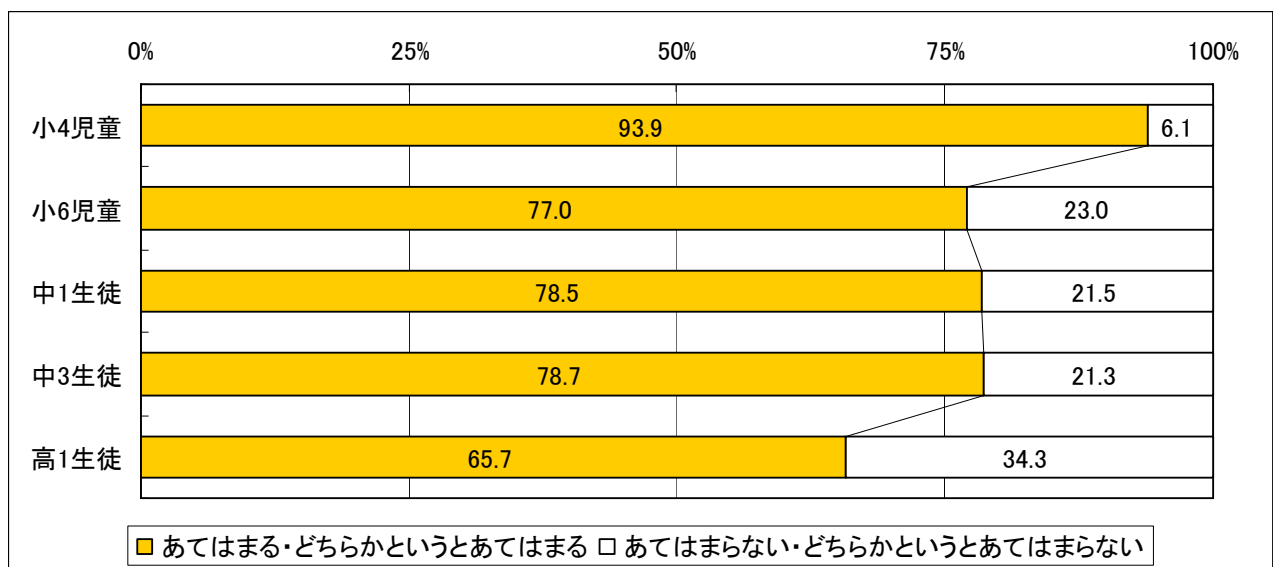
C⑥	先生は、教科の学習で、グループ学習や話し合い活動のばめんを多くつくっている。	小4・6児童
C⑥	先生は、教科の学習で、グループ学習や話し合い活動の機会を多くつくっている。	中1・3生徒
C⑥	先生は、教科の学習で、グループ学習や話し合い活動の機会を多くつくっている。	高1生徒



C⑥	先生は、みんながなかよくはなしあって、かつどうできるように、たすけてくれる。	小2児童
C⑦	先生は、学級での話し合いで、みんながうまくきょうりょくできるように助けてくれる。	小4・6児童
C⑦	先生は、学級での話し合いで、みんながうまく協力できるように助けてくれる。	中1・3生徒
C⑦	先生は、学級での話し合いで、みんながうまく協力できるように助けてくれる。	高1生徒

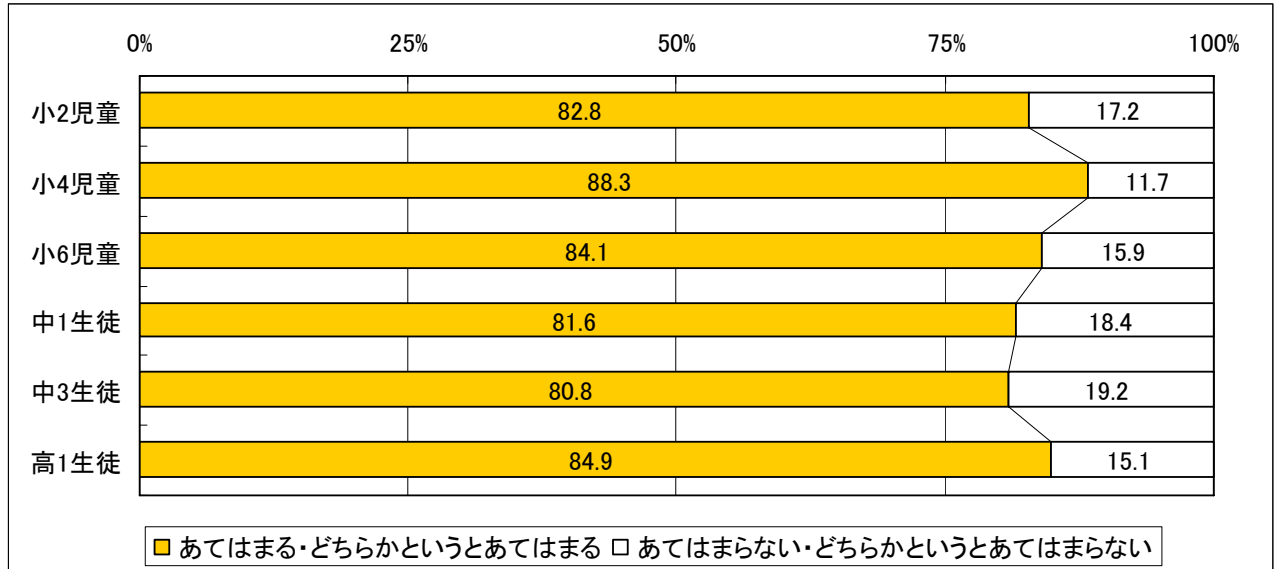


C⑧	先生は、いいんかい活動やほかの学年の人との活動で、みんながうまくきょうりょくできるように助けてくれる。	小4・6児童
C⑧	先生は、生徒会活動や部活動で、みんながうまく協力できるように助けてくれる。	中1・3生徒
C⑧	先生は、生徒会活動や部活動で、みんながうまく協力できるように助けてくれる。	高1生徒

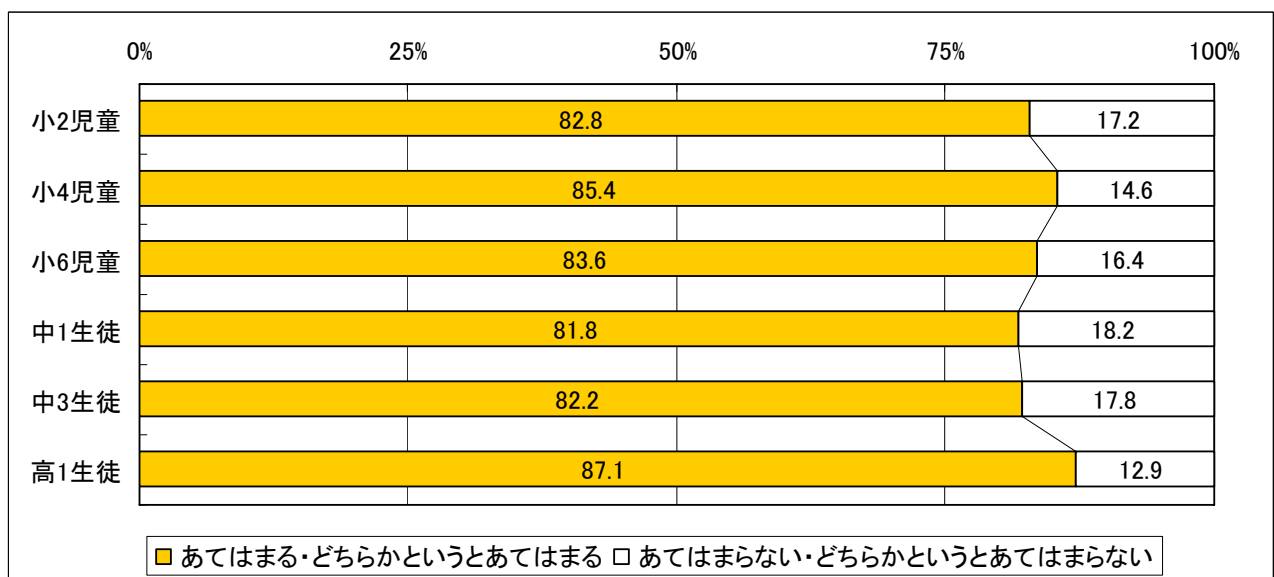


D 子ども同士のやりとり

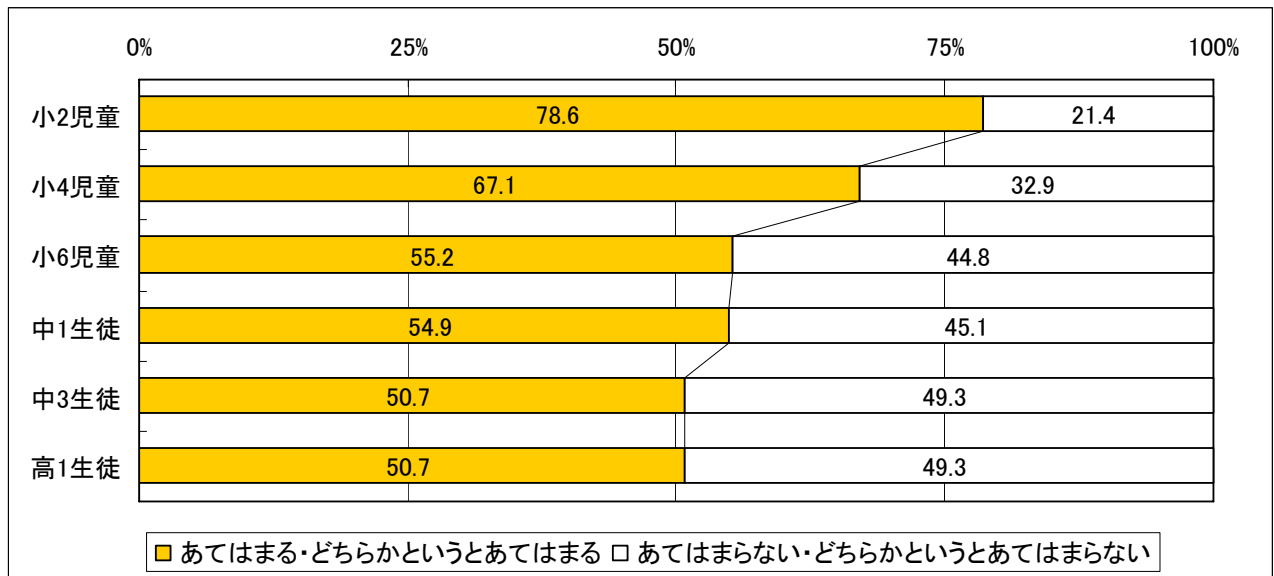
D①	ともだちは、わたしのはなしを、よくきいてくれる。	小2児童
D①	学級の友だちは、教科の学習で、自分の発言をよく聞いてくれる。	小4・6児童
D①	教科の学習で、学級の友達は、自分の発言をよく聞いてくれる。	中1・3生徒
D①	教科の学習で、学級の友達は、自分の発言をよく聞いてくれる。	高1生徒



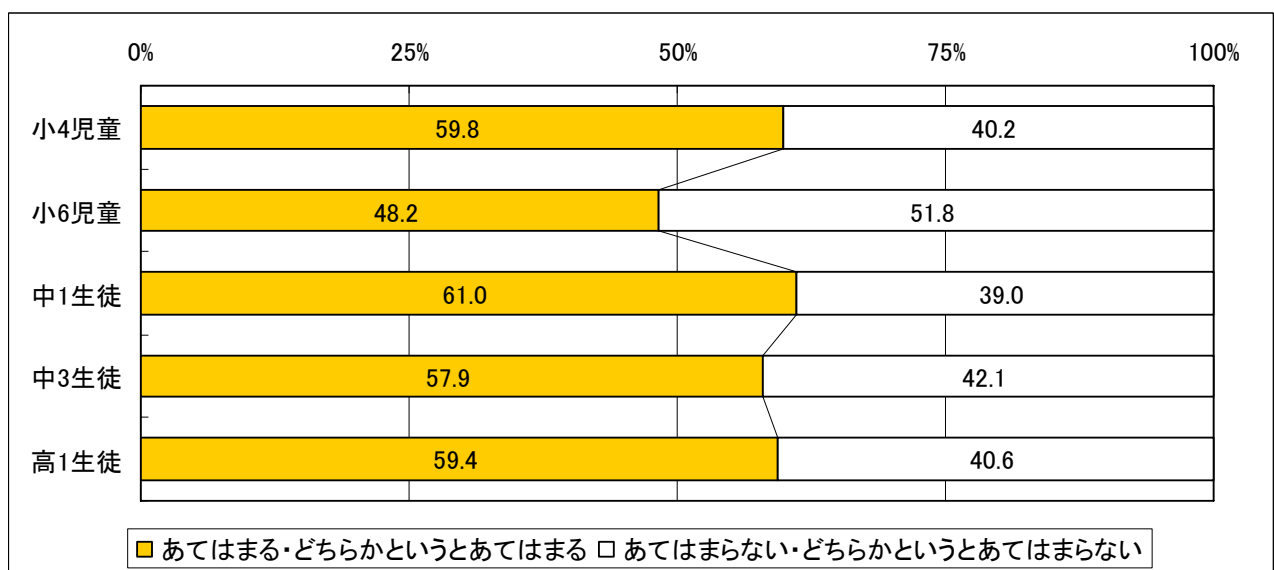
D①	ともだちは、わたしのはなしを、よくきいてくれる。	小2児童
D②	教科の学習いがいで、学級の友だちは、自分の発言をよく聞いてくれる。	小4・6児童
D②	教科の学習以外で、学級の友達は、自分の発言をよく聞いてくれる。	中1・3生徒
D②	教科の学習以外で、学級の友達は、自分の発言をよく聞いてくれる。	高1生徒



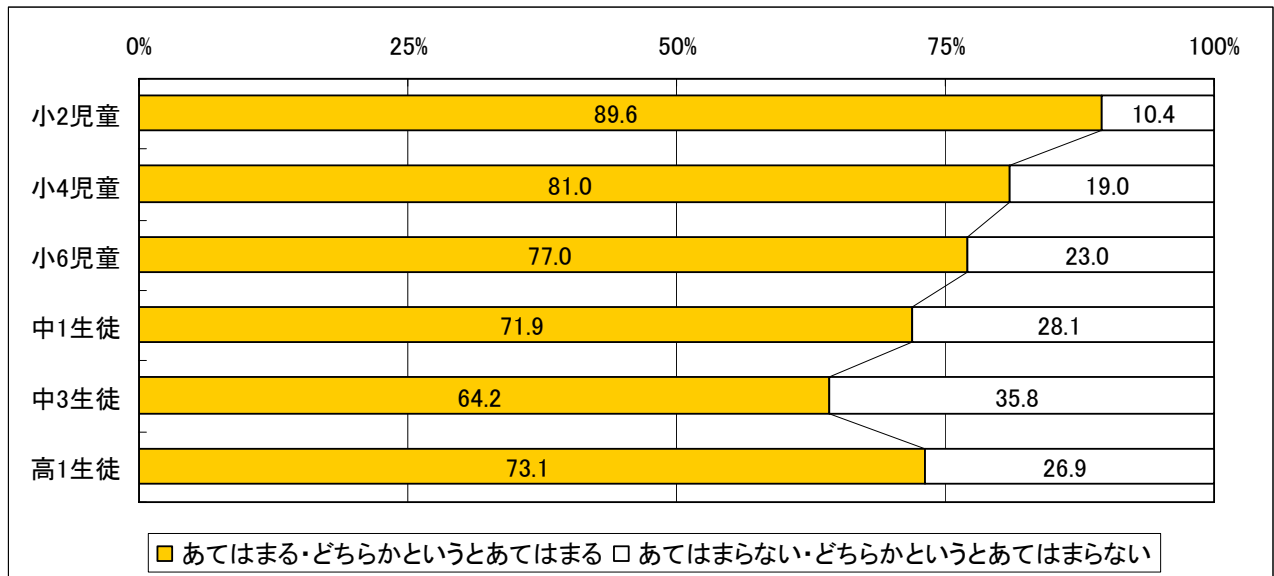
D②	がっきゅうでこまったことがあったとき、みんなで、はなし合うことができる。	小2児童
D③	学級では、問題点をなくすため、そのことをみんなで話題にすることができる。	小4・6児童
D③	学級では、問題点を解決するため、そのことをみんなで話題にすることができる。	中1・3生徒
D③	学級では、問題点を解決するため、そのことをみんなで話題にすることができる。	高1生徒



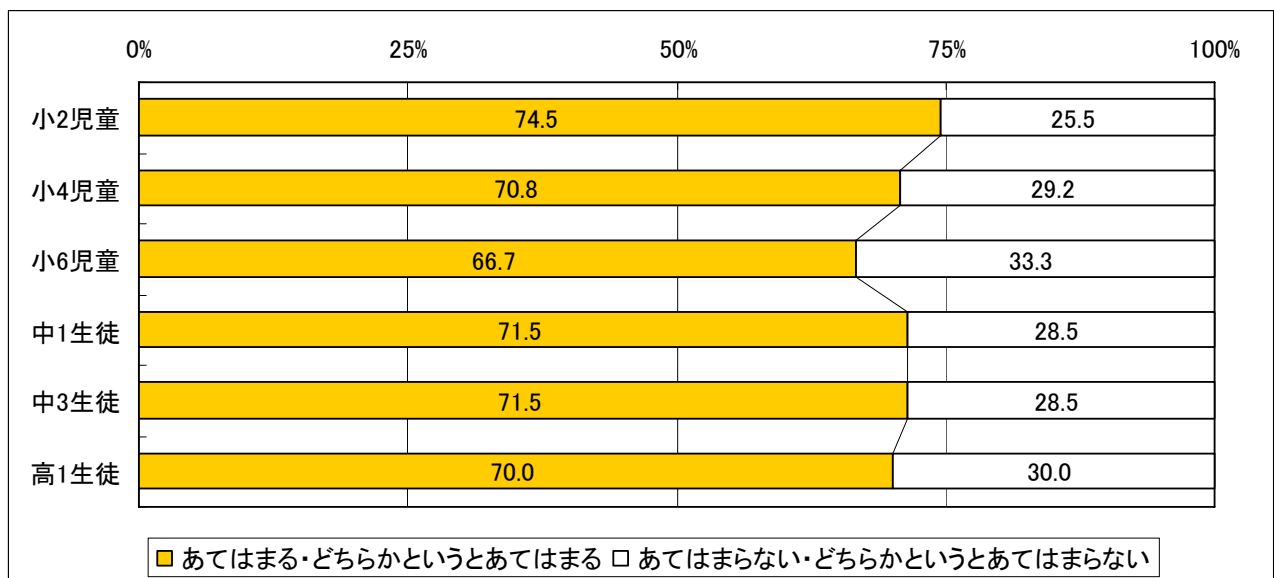
D④	ほかの学年の人との活動では、問題点をなくすため、そのことをみんなで話題にすることができる。	小4・6児童
D④	生徒会活動や部活動では、問題点を解決するため、そのことをみんなで話題にすることができる。	中1・3生徒
D④	生徒会活動や部活動では、問題点を解決するため、そのことをみんなで話題にすることができる。	高1生徒



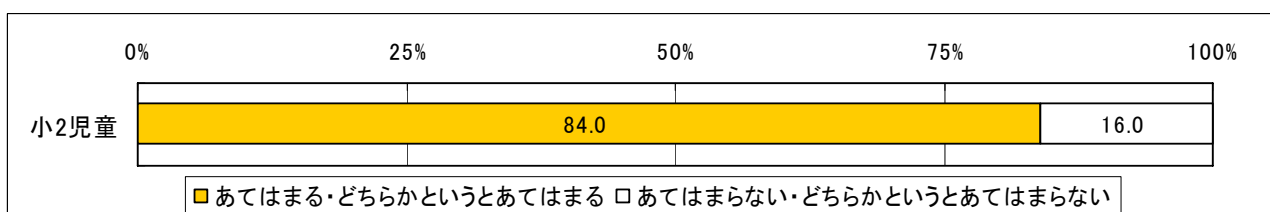
D③	こまっている人がいると、みんなが、こえをかけてあげる。	小2児童
D⑤	学級では、こまっている人がいると、しぜんに声をかけあっている。	小4・6児童
D⑤	学級では、困っている人がいると、自然に声をかけあっている。	中1・3生徒
D⑤	学級では、困っている人がいると、自然に声をかけあっている。	高1生徒



D④	たてわりはんのかつどうでは、こまっている人がいると、上きゆう生が、こえをかけてくれる。	小2児童
D⑥	ほかの学年の人との活動では、こまっている人がいると、しぜんに声をかけあっている。	小4・6児童
D⑥	生徒会活動や部活動では、困っている人がいると、自然に声をかけあっている。	中1・3生徒
D⑥	生徒会活動や部活動では、困っている人がいると、自然に声をかけあっている。	高1生徒

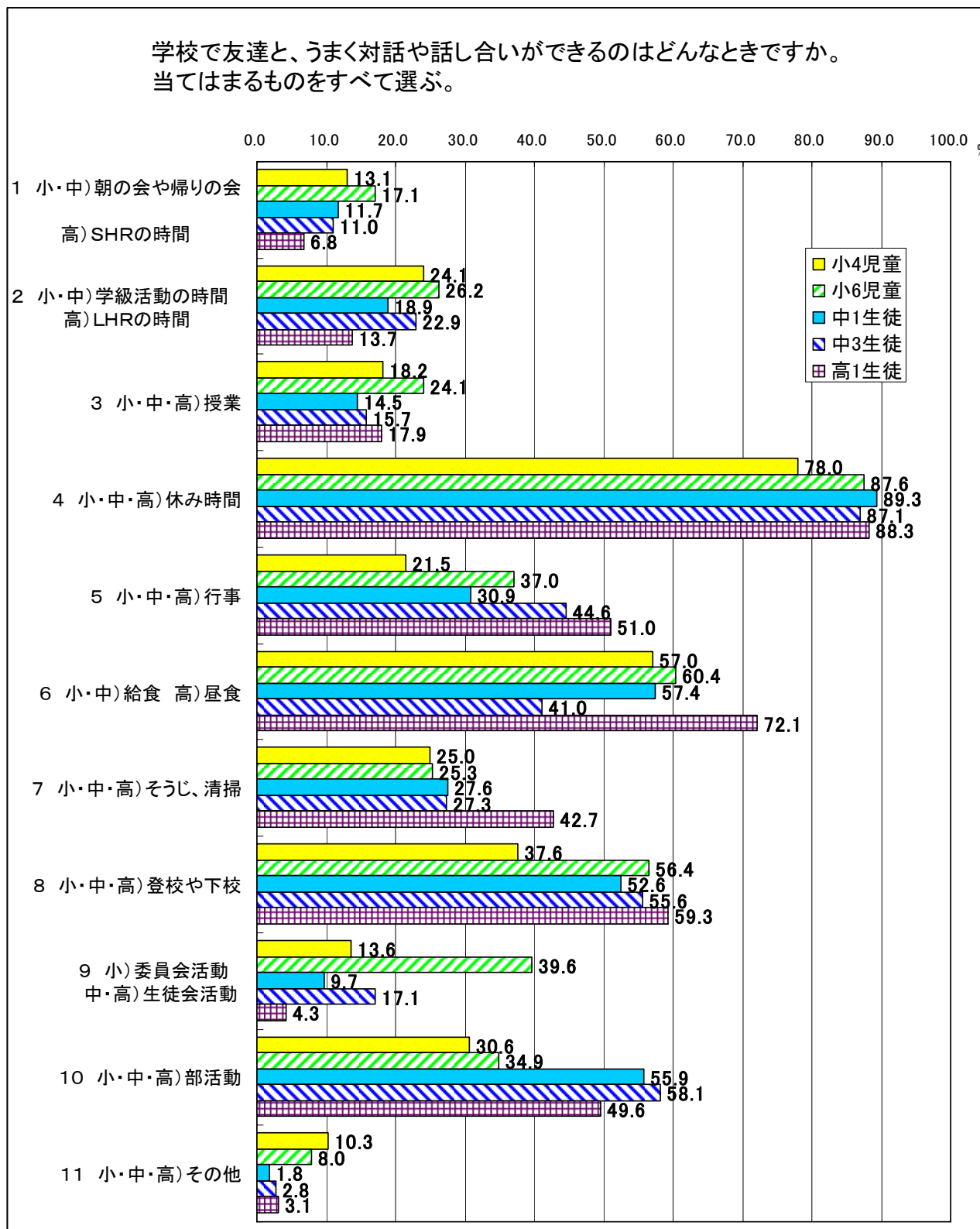


D⑤	たてわりはんのかつどうでは、きょうりよくしない人がいると、上きゆう生が、ちゅういしてくれる。	小2児童
----	--	------



E 学校や家庭での話し合い

E(1)	学校で友だちと、うまく対話や話し合いができるのはどんなときですか。あてはまると思うものをすべて選んで、数字に○をつけてください。	小4・6児童
E(1)	学校で友達と、うまく対話や話し合いができるのはどんなときですか。あてはまると思うものをすべて選んで、数字に○をつけてください。	中1・3生徒
E(1)	学校で友達と、うまく対話や話し合いができるのはどんなときですか。あてはまると思うものをすべて選んで、数字に○をつけてください。	高1生徒



E(2)	学校や家庭で話をするとき、自分や相手がいやな思いをしないようにするために、どんなことに気を付けていますか。	小4・6児童
E(2)	学校や家庭で話をするとき、自分や相手がいやな思いをしないようにするために、どんなことに気を付けていますか。	中1・3生徒
E(2)	学校や家庭で話をするとき、自分や相手がいやな思いをしないようにするために、どんなことに気を付けていますか。	高1生徒

- 2391名の児童生徒から、総数1685の記述が得られました。
- 言葉遣い、聞き方、話し方、表情、話す内容など、様々な観点から書かれています。

(例)

- ・ 言葉遣い、敬語の使い方に気をつける
- ・ 相手のいやなところやきずついてしまうな、と思うところは話さないで、いいところをできるだけたくさん話す。
- ・ 自分かってにしゃべらない。
- ・ 笑顔を忘れない
- ・ 怒らないで、強い口調にならないように話す
- ・ できるだけ相手の顔を見てしっかりと相手の意見もきけるように質問する。
- ・ 行き過ぎた発言をしないように気を付けて話す。現時点でそう思っている相手にも悪いと思ったり言わない。
- ・ 相手がいやな気持ちになることは声には出さないで心の中にしまうことを心がけている。明るい話題を話すようにしている。